巻頭言



日本ハンドボール協会理事
市原　則之

〝くまもと〟〝シドニー〟へ

　当稿が掲載される頃は、日本ハンドボール史上最大イベントの男子世界選手権大会が無事終了している頃と思うが、まずはこの世界選手権の招致から開催に至るまで長きにわたりご苦労をいただいた関係各位に対し、心から敬意を表させていただきます。

　世界選手権大会の日本（熊本）招致については、日本協会と熊本県との両サイドで、それぞれ異なった思惑があったことと推察するが、こうした国際大イベントを実施した後は、必ずその組織体は活性し、その中から多くの人材が育成されて、自然に次代のリーダーを醸成させるものである。

　このことは、各国で開催されたオリンピックや各種の世界選手権大会でも立証されており、身近では、平成3年から僅か6ケ年の間に、男女のアジア選手権大会の開催や、アジア大会並びに国民体育大会の運営と軒並み成功させ、同時に幾多の国際試合をも招致して、たくさんのハンドボールファンを生み出し絶大な事業力を身につけた広島県ハンドボール協会が、まさにこのお手本で、現在の日本ハンドボール界を牽引していることは周知の通りである。また、そういう意味からして、今回これら以上の大イベントを実行した熊本は、広島に替わる新しいリーダー協会として今後力強く活動していくことと思うが、これら地方からの動きに対し、中心都市も刺激されて、日本全体のハンドボール界の活性の波がうねり始めることを願うばかりである。

　さて、他方、日本チームの成績はいかがであろうか。果たして目標の8位以内にくい込めたであろうか。強化畑出身の小生にとっては無関心ではいられない。

　なぜなら世界選手権大会の招致は、ここ数年オリンピック出場を閉ざされて低迷を続ける日本ハンドボール界の起死回生の活性策として、当時の協力執行部が熱い思いを込めて決断したことと思うが、単に協会役員だけではなく、事業力・運営力のいかんにかかわらず、何とか日本開催を実現させて再びオリンピックの道を開き、その延長を普及・発展に結びつけて欲しいという願いは、大多数の愛好者の常識でもあるからである。

　一般にスポーツの普及・発展には、頂点の強化と底辺の拡大が重要な課題とされているが、高い山ほど広い裾野があるように、頂点、つまりナショナルチームの活躍がなければ底辺の拡大にはつながらない。その意味でも、ナショナルチームは常に世界の桧舞台での活躍が義務づけられ、オリンピック並びに世界選手権への出場は絶対に欠くことのできないものになっている。

　従ってこの熊本世界選手権は、日本リーグオーナーから一般愛好者までハンドボール界が一丸となって、物心両面よりナショナルチームを支援するという、言わば将来を託した大会となった訳であるから、大会終了後は強化関係者は速やかに成績内容やオルソン体制を検証していち早く新しい体制を整え、力強くシドニーに向かってスタートしていただきたいものである。〝ゆっくりしてはいられない〟

　関係各位のさらなるご尽力を心からお願いする。

協会だより

平成9年度 4月度 拡大臨時 常務理事会

[日　時]平成9年4月6日(日)
13時00分~15時00分
[場　所]東京体育館　第3研修室
[出席者]中澤専務理事、常務理事8名、理事2名、参事3名、監事1名、事務局2名

世界選手権熊本大会関連事項審議のため、理事、参事の出席の上、拡大常務理事会を開催、新執行部の役職分担について、説明があった。

1、財務（予算）について

日本協会の世界選手権予算収支について熊本事務局と協議する。

一般事業について引き続き経費削減に努めるよう要望があった。

フレンドシップ、特別号広告協賛について、成果があったことを報告。

今後の必要事業の費用について早めに申請すること。

2、日本リーグ関連事項

ワールドドリームゲームについて報告。日本リーグ運営委員会に運営を委託した。大会名称をワールドドリームハンドより変更した。大会予算について了承。

第3回ヒロシマ国際ハンドボール大会について説明。

運営委員会議事録報告。

第22回日本リーグ日程報告。

3、強化関連事項

日本・ポルトガル国際親善大会報告。熊本壮行激励会について出席依頼。

全日本ヨーロッパ遠征結果報告。

4、オーナー会議について

4月22日伊藤忠商事会議室にて開催予定。内容について検討。

5、その他世界選手権大会開催準備について

審判16組が決定。後藤・清水組はIHF指名。リザーブレフェリーに小笠原・浜田組を推薦。

プレスセンターオープンについて報告。

テレビ放映解説者について報告。

特集号の広告協賛企業名及び協賛金の報告。

フェスティバル大会を、男子23~25日、28~30日、女子17~19日、23~25日、28~30日で実施。

ADカードについて検討。

コーチレフェリーシンポジウムを、5月20~21日、24~25日、27~28日に熊本県立体育館で実施。

大会会場のアクセスを報告、都道府県協会へ連絡する。

スポーツiの放映時間が水曜日から月曜日に変更。

タイムアウト制について、熊本大会で採用が決定しているが、再度参加国へ通達するようIHFへ依頼する。

世界選手権テレビ放映案を報告。

平成9年度 4月度 拡大 常務理事会

[日　時]4月12日(土)
10時00分~17時00分
[場　所]大崎電気㈱会議室
[出席者]中澤専務理事、常務理事9名、理事3名、参事3名、監事1名、事務局2名

1、'97男子世界選手権熊本大会関連事項

大会案内状の発送者リスト及び発信元の確認。

日本協会関連パーティーについて、担当役員を確認。

ワールドドリームゲームについて、参加国の表示について了承。

また、大会運営の日本協会役割分担を決めた。

日本チームと全日本チームの表示について、国際試合の場合は日本チーム、国内で他チームとの試合の場合は全日本チームとし、熊本大会では日本チームとすることを確認。

パークドーム会場総合リハーサルを4月26日(土)に実施する。世界大会の業務担当役員全員参加。

世界選手権各担当の行動計画について報告。

外国選手団の受け入れ対策について報告。

財務報告と予算計上について、引き続き微妙な状態であるため、事務局を含め各事業の支出節減を強く要望。



世界選手権・熊本大会の開会あいさつ

動員計画について、フレンドシップによる協賛と告知をさらに促進し、一般客の対応対策について提案。

フェスティバル大会について報告があり、観客席の確保等熊本事務局に確認。

コーチレフェリーシンポジウムについて開催要項の報告。またIHF／CCM委員長よりの要望について、計画書を提出し検討することとした。

ADカード発行に関し、配布基準作成を依頼。

大会結果を内容とした報告書を日本協会として作成するが、組織委員会のものと重複しないよう折衝する。

機関誌7月号については、平常より早く世界大会の結果をまとめて発行することで準備を進めることとした。



熊本パークドームに満員のスタンドからは大きな声援が

その他

フレンドシップ協賛者に全日本選手の強化育成資金に活用のため賛助会に引き続き入会を依頼する提案があり了承。

'97ジャパンカップ大会要項（案）について報告。

大崎スポーツ財団、JOC委託金の活用について了承。

2、オーナー会議の準備について

オーナー会議資料について報告。

21世紀に向けて日本ハンドボール協会の運営方針（案）について報告。特に日本リーグの特別登録金について検討、選手強化資金として会議に提案する。

全日本チームの1995～1996年の活動実績、1997年の計画について本会議で報告する。

第15回男子世界選手権日本選手団名簿を4月15日に組織委員会とIHFに提出することの報告。

実業団連盟理事長に就任して



近森　克彦

4月に開催された97年度実業団ハンドボール連盟理事会に於て会長以下全員の承認をいただき、市原さん（現副会長）より理事長を引き継ぐ事になりました。

日本ハンドボール協会が創立60周年を迎える年に、この様な職に指名される事を光栄に感じますと共に、今後その責務を果たすべく心新たにハンドボール界、及び連盟所属各チームの発展のため努力して参りたいと思います。

企業を取り巻く環境は、多少光明が見えてきてはおりますが、業種によっては依然厳しい状態である事に変わりなく、チームの強化、維持、存続に影響を与える状況を考慮しますと、さらに全員で知恵をだし、行動していかねばならないと強く感じております。そういう意味で、意図が通じ議論ができる組織にして前理事長が施行された事をさらに進めて、存在が有意義であるよう、実行していきたいと考えております。

ハンドボール競技も世界選手権大会の日本開催のビッグイベントを成功裡に導き今後のさらなる発展に大きく飛躍するチャンスの時を迎えており、全体でそれを意識すべきであると思います。当連盟は数多くの有望選手の母体で在ることを認識し、世界に互する程の日本代表チームになるよう、日本リーグ委員会とも協力して寄与できるようにしていきたいと思っております。

そうした事を踏まえて当連盟の今後の活動計画を記しておきます。

◇日本協会、日本リーグとの綿密な連動で活性化を計る

・日本リーグ2部チームへの参加依頼し底上げする。

◇国際交流の促進

現在、連盟としては日韓社会人交流（女子のみ）を行っているが、今後は男子も含めて実施する。ヨーロッパを中心に具体的には、男女共、各チームの新人、チーム事情により試合の出場機会が少ない選手で合宿し、レベルアップと国際レベルの認識、対応を実感させる。

◇レフェリーのアフター講習の実施

当連盟が主催します大会の審判を各地方協会にお願いし運営してきましたが、大会日程がその協会と重なる等があり迷惑をかける状態を打開する為も含めて日本協会審判部の協力を得て審判の検定試験を積極的に受験させ、現在50人がB級資格を取得していますが、仕事の関係もあり機会が少なく、折角の資格もレベルを維持できない人もいることから、レベルアップの運用案を作成して実施する。

以上が活動の主旨ですが重ねてハンドボール界発展の為、会長をはじめとして全員で努力してまいる覚悟ですので今後とも宜しくお願い申し上げます。

理事に就任して

ハンドボール部活動を守れ

全国高体連委員長
北岡　大覺



ここ数年加盟校の減少と部活動への不参加による部員数減少の一途をたどっている。

学校スポーツ競技・部活動の危機である。

マイナーと言われ、競技人口もスポーツコーチ数も、学校ハンドボール専門指導顧問数も少ない私たちが愛するハンドボール競技は、この上ない危機である。

部員数減少の加速傾向は年々進み、チーム数の減少に輪を掛けて、ハンドボール部に廃部がおこっている。

子どもたちのスポーツ離れとハンドボール専門指導出来る部顧問の転勤により、教員の高齢化にともなう運動部顧問の体力低下から来る指導の限界・専門外種目顧問の苦痛など、顧問の補充が出来ない部の顧問不在が廃部へとつながっているのが現状である。

高校に於ける運動部顧問の20才代専門種目指導顧問は0で、30才代では数人であり、あとは、体力の衰えた高齢者顧問により、付添いだけ顧問により支えられている現状である。ハンドボール部活動も他の種目同様に苦境の道を駆け落ちているのである。

高体連のある種目専門部では、部員数の減少に応えようと、競技のミニ化を検討したり出場規定の枠を広げる出場規定の見直しを採用しようと研究している。

ハンドボール競技も全国高体連として、出場チーム規定の枠を広げ、2～3校の部員でチーム出場（合同校）が可能となる時が来るかもわからない。

こういった問題は、全国高体連として加盟全種目の検討課題に挙げられ新しい規定が採用されるだろう。

「ハンドボールが好きだ」という部活動の部員数を増やし、放課後の活動の夢を叶え育ててやらねばならない。

全国高体連のハンドボール指導者は、子どもたちの個性を生かし、多様化した要求に応え、部活動から巣立つ夢を実現させてやらねばならない。

全国高校総体（インターハイ）と全国高校選抜大会が、学校部活動の基盤となり、高校生活の人生の夢「ハンドボール部活動をして良かった」を叶えてあげられる大会として、守ってやりたい。

全国の高体連の指導者の皆様、ハンドボール部活動を守っていこう。

新理事の抱負

井出　和洋



28年間、ただひたすら一つのチーム作りに専念してきました私に、突如として熊本県協会と九州ブロックの理事長、及び日本協会理事への推薦のお話があり、これをお引き受けすることになりました。

お引き受けしました当初は、一生懸命やっていれば、どうにかなるだろうと安易な気持ちもありました。また、以前はこの立場におられた方々を批判したこともありましたが、実際に自分がこの立場に置かれてみますと、これは大変なことだなと、その責任の重さに身が引き締まる思いが致します。

熊本県は、これからの5年間に、本年5月の男子世界ハンドボール選手権大会をかわきりに、1999年には第54回国民体育大会、2001年には、全国高校総体と大きなイベントが目白押しとなっており、これらの大会を成功に導くため、熊本県協会としても全力を尽くしていかなければなりません。幸いなことに熊本県協会は、協会役員の組織が若返り、やる気十分の態勢ができつつあります。私としてもこれに頼むところは厚く、スタッフを信じ、協力を得ながら任務を遂行するしかないと考えております。また熊本県にはハンドボールのオーソリティーである諸先輩方が数多くおられます。これも頼もしい限りであると心強く思っております。

協会運営は、一つのチームを作っていくのとは勝手が違って、複雑な組織間の連携を図り、ミスを許さぬ厳しいものであります。私にどれだけのことができるかどうか分かりませんが、まずは、ひとつひとつの組織編成をやり、いままでの協会運営の流れを踏襲し、現在各協会で行われつつある若手への交替を見つめながら、それぞれの長所を取り、正すべき所は正して、関係機関との対話を大切にして、前進していきたいと思っております。

私自身、まだこの任務に携わったばかり、なにはともあれ、私のモットーである、行動力をフルに発揮して、周囲から学ぶところは学び、素直な気持ちで、任務の遂行に専念し、まずは、ひとつひとつの大会、競技を成功させ、無事に終了させていくことに務めていくつもりでおりますので、皆様のご協力をなにとぞお願い申し上げます。

最後になりますが、この機関誌が発行されるころには、男子世界ハンドボール選手権が終了していることと思います。全国のハンドボールファンの皆様には熊本の地に足を運んでいただき、熱い声援を送っていただきましたことにお礼申し上げます。

市原氏JOC理事就任パーティー

日本ハンドボール協会では、4月12日(日)にJOC理事就任のお祝いと今後のご活躍を願って祝賀パーティーを開催しました。



出席者は当日行われた拡大常務理事会に出席した理事をはじめとして、日本協会を初めとして、在京の強化関係、日本リーグ関係などから多数の参加を得、盛大に行われました。

会はまず中澤専務理事の挨拶に始まり、大野監事の音頭で乾杯へと進み、その後、参加者一人一人から、ハンドボール界でのご活躍の跡が偲ばれる市原氏との関わりが次々と紹介され、会は盛況の内に進み最後に佐野監事の締めで閉会となりました。

市原氏は、湧永製薬のチーム創設に参画され、数々のすばらしい球歴を残され、1984年のロサンゼルスオリンピックには監督として出場されました。その後強化担当常務理事としてナショナルチームの活動に多大な貢献をなされております。

JOCにおいては、1989年JOC設立より選手強化本部常任委員として、JOCコーチ会議での座長、また、中央アジア五カ国の調査活動と広島アジア大会の本部役員、そしてアトランタオリンピック事前調査活動とアトランタオリンピックでの本部役員としてのご活躍が認められたものです。

JOCでの今回の役員改選は、長野オリンピックを前に役員は継続が基本とされましたが、バレーボールの松平康隆会長の退任に伴い、これまでのご活躍が認められ、球技系からの推薦で市原氏が選出されました。

選手権大会に臨む 日本代表決まる!!

16 四方 篤
しかた あつし



所属：本田技研
1972.5.12生まれ
190cm・98kg
出身校：高槻市立第三中・北陽高校・大体大
大阪府出身
試合出場回数：12回・得点0

大体大時代に学生日本一に2度輝いた期待の大型GK。日本リーグ入りの翌年に全日本に名を連ね、初の世界出場で大飛躍を期す。

1 橋本 行弘
はしもと ゆきひろ



所属：本田技研
1965.9.17生まれ
185cm・91kg
出身校：豊橋市立豊城中　岡崎城西高
愛知県出身
試合出場回数：162回・得点0

公式国際試合出場160回は日本歴代ナンバーワン。気迫あふれるダイナミックキーピングで日本ゴールを死守する。

3 魚住 和彦
うおずみ かずひこ



所属：大崎電気
1966.10.24生まれ
187cm・92kg
出身校：熊本市立城南中・東海大二高・東海大
熊本県出身
試合出場回数：66回・得点111

果敢に走り込んでのジャンプシュートの威力は折り紙付き。地元熊本出身とあって注目度も倍増、一投一打に闘志がみなぎる。

2 高木 浩司
たかぎ こうじ



所属：中村荷役
1967.9.7生まれ
181cm・81kg
出身校：明石市立大蔵中・明石北高・日体大
兵庫県出身
試合出場回数：19回・得点15

中村荷役での活躍を買われて全日本入り。ジャンプ力豊かなサイドプレーにめっきりと力強さを増し、レギュラーの座を狙う。

第15回男子世界選手権大会日本代表選手名簿

世界

役職	氏名	所属
団長	野田　清	日本協会
監督	OLLE OLSSON	日本協会
コーチ	田口　隆	日本協会
〃	酒巻清治	湧永製薬
渉外	栗山雅倫	筑波大学院
ドクター	坂口　満	熊本整形外科病院
〃	生田拓也	〃
ドクター	西村英治	〃
〃	西山圭介	〃

	氏名	所属	所属
GK	橋本行弘	本多技研	岡崎城西高
〃	四方　篤	本多技研	大阪体育大
CP	高木浩司	中村荷役	日本体育大
〃	魚住和彦	大崎電気	東海大学
〃	佐々木教裕	日本体育大	拓大第一高
〃	冨本栄次	大同特殊鋼	日本体育大
〃	中山　剛	湧永製薬	福岡大学
〃	岩本真典	三陽商会	早稲田大
〃	末岡政広	大同特殊鋼	福岡大学
〃	永山　強	大崎電気	順天堂大学
〃	藤井孝志	大同特殊鋼	筑波大学
〃	杉山裕一	湧永製薬	岐阜商業高
〃	茅場　清	本多技研	日本体育大
〃	山口　修	湧永製薬	大阪体育大
〃	辻　昇一	大崎電気	日本体育大
〃	角谷裕司	日新製鋼	天理大学

5 冨本　栄次（とみもと　えいじ）



所属：大同特殊鋼
1971.10.18生まれ
182cm・88kg
出身校：川崎市立塚越中・日体荏原高・日体大
神奈川県出身
試合出場回数：45回・得点124

抜群のフットワーク力を生かしたセンタープレーで世界にチャレンジ。日本攻撃陣の中軸として躍動するリードオフマン。

4 佐々木　教裕（ささき　のりひろ）



所属：日体大
1974.4.8生まれ
190cm・95kg
出身校：国分寺市立第五中・拓大第一高
東京都出身
試合出場回数：2回・得点3

唯一の学生選手。１年間のドイツ留学で大きく成長し、パワフルなカットイン、高打点シュートで大暴れが期待されるヤング砲。

7 中山（なかやま） 剛（つよし）



所属：湧永製薬
1969.7.4生まれ
190cm・93kg
出身校：瀬高町立東山中・久留米工大附高・福岡大
福岡県出身
試合出場回数：100回・得点374

左45度のエースポジションは任せろ！長年苦しんだヒザの故障も癒え、力感あふれるロング、ミドルシュートを武器に大ハッスル。

6 角谷（かくたに） 裕司（ゆうじ）



所属：日新製鋼
1973.11.5生まれ
175cm・78kg
出身校：大阪市立城陽中・都島工高・天理大
大阪府出身
試合出場回数：2回・得点1

彗星のように飛び出したヤング左腕。天理大時代の関西学生リーグで15点台の驚異的なアベレージを残したシュート力が新天地のサイドでフル回転。

8 岩本（いわもと） 真典（まさのり）



所属：三陽商会
1970.9.28生まれ
200cm・98kg
出身校：熊本市立京陵中・熊本市立商・早稲田大
熊本県出身
試合出場回数：55回・得点111

左ヒザ前十字じん帯断裂のアクシデントを必死のリハビリと筋力トレーニングで乗り越え、郷里熊本でエース復活をアピール。

11 永山（ながやま） 強（つよし）



所属：大崎電気
1971.9.9生まれ
178cm・82kg
出身校：浦和市立大久保中・浦和実業高・順天堂大
埼玉県出身
試合出場回数：12回・得点15

ディフェンスの間隙を巧みに打ち抜くミドルシュートが持ち味のテクニシャン。サイドのポジションもこなせるオールラウンドプレイヤーぶりも魅力充分。

10 末岡（すえおか） 政広（まさひろ）



所属：大同特殊鋼
1967.9.1生まれ
177cm・86kg
出身校：長崎市立深堀中・瓊浦高校・福岡大
長崎県出身
試合出場回数：75回・得点240

全日本チームのキャプテン。俊敏なプレーでコートに躍動。ゴールが決まるごとに派手なガッツポーズでムードも最高潮に。

14 杉山 裕一
すぎ やま ゆう いち



所属：湧永製薬
1972.9.21生まれ
190cm・98kg
出身校：羽島郡組合立境川中・岐阜商業高
岐阜県出身
試合出場回数：19回・得点8

大型ディフェンダーとしてメキメキと台頭。体格を生かしたポストプレーも着実に成長の跡がうかがえ本番では欠かせない存在に。

13 藤井 孝志
ふじ い たか し



所属：大同特殊鋼
1969.7.27生まれ
188cm・95kg
出身校：富山市立呉羽中・高岡向陵高・筑波大
富山県出身
試合出場回数：69回・得点110

オルソン体制となって最も成長したポストマン。果敢なディフェンスプレーにも定評があり、攻守のキーマン役として頼りになる存在。

17 茅場 清
かや ば きよし



所属：本田技研
1973.7.8生まれ
185cm・86kg
出身校：美野里町立美野里中・笠間高校・日体大
茨城県出身
試合出場回数：15回・得点34

若手期待の一番星。抜群のスピードと瞬発力にパワーがプラス、多角度なエリアからポイントを狙うヤングヒッター。

20 辻 昇一
つじ しょう いち



所属：大崎電気
1973.5.10生まれ
183cm・80kg
出身校：玉川村立泉中・学法石川高・日体大
福島県出身
試合出場回数：8回・得点5

抜群のスタミナと運動量でコートを疾走。攻撃的なディフェンスと素早い速攻プレーでグングンと力を伸ばしている。

18 山口 修
やま ぐち おさむ



所属：湧永製薬
1972.2.28生まれ
190cm・100kg
出身校：西宮市立鳴尾南中・西宮南高・大体大
兵庫県出身
試合出場回数：12回・得点5

ここ1年で体重が10kg以上もアップ。重量感あふれるディフェンスワークで中央ラインをがっちり守る。攻撃面の着実な成長も光る。

オルソンかく戦う!!

熊本世界選手権を直前に控え、最後の仕上げに入ったオルソン監督の世界選手権に望む抱負を聞いた。(4月30日記者会見より)

Q、全日本の仕上がり具合は?

2日前に最後のステップをスタートした。戦術的な準備は明日からの予定である。内容は現状把握と選手へのフィードバックである。ポルトガル、スペインの5ゲームはまだ準備段階である。

最初のエントリー16名のほかに3名を選出している。最終的なメンバーは5月16日に決定する。

ハンドボールはコンタクトスポーツであり、選手のケガと健康には気を使っている。2日前にも林選手がケガをしてしまったが、世界選手権に向けて繰り返したくないと思っている。フィールドプレイヤーに関しても、オーバーユースでのケガがあったが、現在は完璧な状態である。選手は100%の状態ではないが、世界選手権までには完璧になると思う。岩本選手も総合的にアップしているが、ケガをおそれている状態である。魚住選手は小さなケガがあるが、今のところ問題はない。

選手たちは現在健康な状態であり、世界選手権当日に向けピークに持っていく。

Q、予選グループの対戦相手の研究はどうか?

世界選手権に入ってからは対戦相手を見ることが不可能である。アイスランドに関してはビデオを入手している。ユーゴに関しては情報が少ないが、それでもヨーロッパ選手権など数試合のビデオを入手している。アイスランドに関しては驚くべき結果を出せるかもしれない。秘策があるが秘密にしておきたい。

昨年のジャパンカップではアイスランドに勝つチャンスがなかったが、選手たちは成長しており、現在の状態では5回に1回は勝てる状態である。この1回を世界選手権緒戦に持っていきたい。

Q、食事管理とその成果は?

ナショナル選手の平均体重が83kgから90kgに増えた。ヨーロッパの選手の平均が90kgであり、対等に戦えるまでになった。そのほかハードトレーニングにより筋力の成長も著しかった。岩本選手を例に挙げれば体重が88kgから98kgに増えたばかりでなく、サージャントについても12cmアップしている。魚住選手は82kgから92kgになり、サージャントも14cmほどアップしている。

Q、ディフェンスシステムは一線か5:1かそれともケースバイケースか?

スウェーデン戦以後、6:0だけでも問題があることがわかり、3:2:1も採用することにした。

6:0だけ採用すればディフェンス間のコンビ、プレイヤー個々の役割がはっきりするが、ディフェンスとオフェンスはチェンジしなければならない。

また6:0と3:2:1で同じプレイヤーでは問題がある。これからポルトガル、スペイン戦で完成させていく。速攻を考えてプレイヤーを選び、16人のベストな可能性のある選手を使っていく。

Q、予選Aグループのチームの分析は?

ユーゴとアイスランドはベストのチームである。その他に関しては均衡しているのではないか。しかし、どのチームに対してもギブアップしないで最善の策を採っていく。ユーゴに関しては10回に1回、アイスランドには5回に1回は勝てる。その他のチームに関しても2回に1回は勝てる。

Q、岩本選手に関して

3月中はディフェンスチームであったが、ケガから回復してきて、ヨーロッパ遠征ではオフェンスでノーマルな活躍が出来るようになった。日本にとって重要な武器になる選手であり、茅場選手より深い攻撃が出来る選手である。

Q、予選リーグを突破するための可能性の拡大とキーの選手は?

予選リーグを突破するためには、最低2試合は勝たねばならない。日本は今まで予選で3位が最高であり、勝つことは難しい状況である。結果は出していないが、ポルトガル、スペイン戦が大切と考えている。

キーポイントは選手のメンタルな部分である。成功することが大切であり、成功することによって自信が生まれる。この自信がキーポイントになる。

Q、(キャプテン末岡選手に)手応えは?

体力は上がった。この先は確率の高いハンドボールを目指していく。ロング、ミドルからポスト、サイドへとボールを繋いでいくことが出来てきた。

速報

第15回男子世界選手権大会・熊本 開幕!!

日本ハンドボール界が待ち望んでいた世界選手権熊本大会が5月17日、世界の強豪が集っていよいよ開幕しました。ヨーロッパ以外の地で初めて開催されるという記念すべきこの大会、地元・日本チームの活躍がおおいに期待されます。

今月は発行日の関係で開幕の速報しかお伝えできませんが、次号でその詳細をお伝えいたします。

日本、アイスランドと接戦

日本20（10－14／10－10）24アイスランド

第15回男子世界選手権熊本大会の開幕戦である、日本－アイスランド戦は、5月17日、パークドーム熊本において、9400人の大観衆を迎えて行われた。

スローオフはアイスランド。スタートの布陣はセンターにシグルドソン、左45度にヨハネッソン、右45度にステファンソン、ポストにスベインソン、両サイドにはグリムソンとビャルナソン。一方日本は、トップに辻、両45度に中山と藤井、センターバックに魚住、両サイドには角谷とキャプテン末岡、GKに橋本でディフェンスからのスタートであった。

攻防が切り替わると、アイスランドはシグルドソンに代わりヨハネッソンがディフェンスに入った。日本はセンターに富本、右45度に岩本という攻撃布陣となった。

試合開始から、日本は緊張のためか動きが悪く、開始早々ヨハネッソンにカットインで先制点を許した。日本は攻撃にも精彩を欠き、逆にアイスランドの速攻を許した。これが響き、開始5分には0－4とリードを許してしまった。

その後、6分には富本の得た7mスローを末岡が決めて日本の初得点が入った。しかしアイスランドも攻撃はゆるまず、カットイン、速攻で着々と得点をあげた。20分を過ぎて、やっと日本はディフェンスも動き出した。前半残り7分には8－10と2点差まで追い上げ、場内騒然とした中での展開となった。ここからアイスランドはポスト、サイドにボールがまわり、前半は10－14で終わった。

後半に入ると3点差の攻防で一進一退の攻防が続く。後半7分過ぎ、富本のロングで12－14と詰め寄るとアイスランドもすぐにサイドからビャルナソンで返した。10分過ぎ、日本は佐々木を投入し、その佐々木がカットインを決めて14－16とと踏ん張る。ここでアイスランドにはミスが連続して出て、日本としては勝ち抜けるチャンスであったが、肝心のシュートを落としてしまった。

16分あたりからは、ゲームの流れはまたアイスランドに傾いた。20分過ぎにはこのゲーム最大差の5点差まで広げられた。日本はそれでも富本、藤井で踏ん張ったが、ヨナーソンに見事なランニングシュートを連発され、差を詰めることが出来なかった。

結局、開始の4点差のままの20－24で惜敗となった。しかし、緒戦でのこの好ゲームは、日本チームのこれまでの成果を裏づけるものであり、第2戦以降の戦いに希望を持たせた。

第2戦以降の結果については、次号で詳しくお伝えします。

得点	[日本]	番号	番号	[アイスランド]	得点
0	橋本 行弘	1	5	グリムソン	7
0	魚住 和彦	3	6	シグルドソン	1
1	佐々木教裕	4	7	ヨハネッソン	9
6	富本 栄次	5	8	ビャルナソン	2
1	角谷 裕司	6	9	オラフソン	0
2	中山 剛	7	10	ステファンソン	2
2	岩本 真典	8	11	スヴェインソン	2
3	末岡 政広	10	12	フラフケルソン	0
2	藤井 孝志	13	13	ドゥラノナ	1
0	四方 篤	16	14	シグヴァアトソン	0
2	茅場 清	17	15	ヨナソン	0
1	辻 昇一	20	16	ベルグスヴェインソン	0
20		計			24



第1試合

日本			ポルトガル		
番号	名前	得点	番号	名前	得点
1	橋本行弘	0	1	フェレイラ	0
16	四方　篤	0	12	モルガド	0
3	魚住和彦	1	16	フェルナンデス	0
4	佐々木教裕	2	2	ガラムバス	0
5	冨本栄次	4	3	レセンド	2
6	角谷裕司	4	4	クルス	0
7	中山　剛	1	5	オリベイラ	2
8	岩本真典	3	6	ガマ	0
10	末岡政広	2	7	マルタン	0
13	藤井孝志	2	8	コエルホ	1
17	茅場　清	1	10	ファリア	2
20	辻　昇一	2	11	ピレス	0
			13	アンドリンホ	0
			14	ボロッキー	2
			15	ロカ	0
			17	アルメイダ	2
			18	フェレイラ	0
			19	チコウラエフ	2

日本ーポルトガル親善試合

全日本、世界選手権大会に向けて好発進!!





5月17日から始まる世界選手権大会に向けて、全日本男子チームはポルトガルチームを迎えて親善試合を3試合行った。試合結果は全日本の2勝1分けで、ヨーロッパの強豪チームを相手の好成績で、世界選手権大会に向けて大きな弾みがついた。

■5月1日

於　愛知県体育館

日　本22（8−7 / 14−6）13ポルトガル

日本は立ち上りポルトガルに連取されたが、冨本のミドル、辻のサイドで追いつき前半8−7とリード。

日本は3−2−1の防御が固く、ポルトガルの単調な攻めもあったがよく守り、後半足のとまったポルトガルに対して8点を連取。旅の疲れ（時差）のポルトガルであったが、わずかに細かいパスワークが光ったのみであった。GK四方が再三好守したのは大きな収穫だった。

■5月2日

於　堺市家原大池体育館

日　本22（10−5 / 12−11）16ポルトガル

昨日の敗戦を返そうとポルトガルは激しいあたりを見せた。しか

し日本は昨日の勝利の自信と防御がしっかりしていて全くあたり負けしなくなり、中にも入りこませず安定感があった。
しかし後半中盤、防御リズム、攻撃リズムがくずれ凡ミス続出、ポルトガルに速攻を許すなど不安をのぞかせた。
橋本の粘りのあるキーピングがチームを救った。またセンターの永山が機をみてステップシュート、カットインといい働きをした。
フローターのスピード不足をオルソンは課題にあげた。

■5月5日

日　本18（10－10 / 8－8）18ポルトガル

両チーム2戦をして個々のプレー、チームのプレーもわかり、本当の実力が試される第3戦。
日本は、辻の速攻、末岡のサイド、中山のカットインで得点。ポルトガルも徐々にスピードに鋭さが見られ、ガマの速攻、ポストプレーで応戦。
20分には7－5と日本をリードしたが、日本はすぐ反撃、冨本が右45度からジャンプシュート、茅場の7mスローで10－10。後半も一進一退、相変わらず防御がよく、速攻に結びつけた。攻撃は中山、岩本らフローターの動きにスピードがないのが気がかり。
オルソン監督は熊本に向けて仕上がりが順調に進んでいると自信の記者会見。

第2試合

日本			ポルトガル		
番号	名前	得点	番号	名前	得点
1	橋本行弘	0	1	フェレイラ	0
16	四方　篤	0	12	モルガド	0
2	高木浩司	2	16	フェルナンデス	0
3	魚住和彦	1	2	ガラムバス	1
4	佐々木教裕	2	5	オリベイラ	0
7	中山　剛	1	6	ガマ	1
8	岩本真典	3	7	マルタン	2
10	末岡政弘	4	8	コエルホ	3
11	永山　強	4	10	ファリア	2
14	杉山裕一	4	11	ピレス	0
15	田中　茂	1	13	アンドリンホ	3
17	茅場　清	0	14	ボロッキー	3
			15	ロカ	0
			17	アルメイダ	1
			18	フェレイラ	0
			19	チコウラエフ	0

関西学生ハンドボール連盟創立50周年記念国際親善試合

ポルトガル 35（20－8 / 15－12）20 関西学生選抜

◎1997年5月4日(日)　◎グリーンアリーナ神戸

《監　督》宍倉　保雄（大阪体育大）
《コーチ》福井　孝明（大阪経済大）
　　　　　井上　朋広（京都産業大）

《選手》					得点
・GK	1	橋本	裕介	（大阪経済大4年）	0
	12	倉	昌宏	（大阪体育大3年）	0
	16	三四	勝	（京都産業大3年）	0
・CP	2	竹下	浩雄	（大阪体育大4年）	1
	3	寺田	進	（近　畿　大4年）	0
	4	中村	太一	（大阪体育大4年）	0
	5	浅浦	琢磨	（京都産業大4年）	2
	6	小林	貴幸	（大阪体育大4年）	2
	7	近藤	満孝	（桃山学院大4年）	0
	8	北田	忍	（大阪体育大4年）	5
	9	馬木	純也	（大阪体育大4年）	1
	10	今宮	満泰	（大阪経済大3年）	1
	11	永島	英明	（大阪体育大3年）	1
	13	下川	真良	（大阪体育大3年）	5
	14	屋敷	吉英	（大阪経済大3年）	2
	15	細谷	政彦	（大阪体育大2年）	0

第3試合

日本			ポルトガル		
番号	名前	得点	番号	名前	得点
1	橋本行弘	0	1	フェレイラ	0
16	四方　篤	0	12	モルガド	0
3	魚住和彦	2	16	フェルナンデス	0
4	佐々木教裕	2	2	ガラムバス	2
5	冨本栄次	1	5	オリベイラ	2
7	中山　剛	1	6	ガマ	3
8	岩本真典	2	7	マルタン	0
9	森本彰宏	1	8	コエルホ	4
10	末岡政弘	4	10	ファリア	0
17	茅場　清	3	11	ピレス	0
18	山口　修	0	13	アンドリンホ	3
20	辻　昇一	2	14	ボロッキー	3
			15	ロカ	0
			17	アルメイダ	1
			18	フェレイラ	0
			19	チコウラエフ	0

熊本便り



リハーサル研修に集った人々

パークドームで世界選手権総合リハーサル行われる

世界選手権のメイン会場となるパークドーム熊本において、4月26日(土)に世界選手権総合リハーサルが行われた。このリハーサルは、大会運営に万全を期すために、施設の総点検を行うと共に、本番を想定した競技運営、報道連絡体制、観客対応、来賓対応などの実地研修を行うことにより、大会運営上の問題点等を確認抽出し、本番までに態勢の整備を計ることを目的として行われた。

参加者は総勢750名に及び、八代市、山鹿市会場関係者も参加した。モデルゲームは松橋高校をユーゴスラビアに、国府高校をスウェーデンに見立て、試合前のセレモニー等も本番さながらの進行であった。

リハーサルは9時に全員が集合し、福島熊本県知事、中村熊本市助役等の視察、激励の挨拶から始まり、競技運営の各部門研修へと進み、まる一日をかけての大がかりな研修であった。途中不測の事態に備えてのダミートラブルも用意されたが、連絡体制等充分な連係が取れ難なくクリアーした。しかし、本当のトラブルも発生したとのことで、本番までの解決が望まれるところである。

収容数1万人の大規模な施設に必要な防災訓練も併せて行われた。

世界選手権熊本大会 日本ナショナルチーム激励壮行会行われる

最終段階の調整に入った男子日本ナショナルチームの激励壮行会が、ポルトガル戦を前にした4月30日、名古屋の都ホテルで、渡邊副会長はじめ日本協会関係者、日本リーグオーナー、並びに日本リーグ関係者、熊本世界選手権組織委員会関係者、記者会見を終えたマスコミ関係者など、約100名の参加を得て盛大に行われた。

激励会は、大同特殊鋼禰津オーナーの激励の言葉の後、選手一人一人が紹介された。この後、各方面から激励の言葉が寄せられ、選手一同新たな闘志を湧き立たせていた。オルソン監督からは、前蒲生監督からの財産を引き継ぎチームを育成してきたことが述べられ、世界選手権では驚くべき成果を見せることが出来るかもしれないとの抱負が語られた。

最後に、平成8年度運動記者賞の記念額が、男子・藤井選手(大同特殊鋼)、女子・長久選手(イズミ)に贈呈された。藤井選手からこの賞に恥じないよう世界選手権ではプレーしたいとの意欲が語られた。


激励を受けるオルソン監督以下全日本のメンバー

フレンドシップ'97協賛者名簿

4月28日現在で1030名のご協賛をいただいております。以下にお名前を掲載し、感謝を表します。なお、引き続き協賛者を募っていきたいと考えておりますので、皆様のお近くの方にも世界選手権大会の告知と、協賛を呼びかけていただくようお願いいたします。

協賛いただいた方には以下の記念品が増呈されます。

1. '97男子世界ハンドボール選手権大会・熊本記念特製テレホンカード
2. 世界選手権記念特集特別号

【北海道】
倉本紘一　迫茂　岡田豊夫　村瀬清史　加藤勉　松崎雅芳　田中勇　柏崎久子　清水勝　駒林昭三　三栖雅之　小越康雄　松喜美夫　大橋幹正　清水幸彦　小林礼　加藤慶仁　萩原英俊　高原健　棚橋伸男　佐藤博明　宮崎光市　高橋義男　安藤憲四郎

【青森県】
太田尚充　鳴海満　川島卯太郎　福士義昭　渡辺信行　滝口太　諏訪正徳　藤本武　坪谷雅幸　齋藤浩　小川清吉　久保吉也　関本和之　対馬保子　平尾和浩　長谷川稲子　坂本吉次　青森高校ハンドボール部

【岩手県】
佐藤睦朗　太田利彦　大澤由和　谷藤勝美　池口杜孝　箱崎敬吉　大志田論　佐藤正一　北村尚英　澤藤稔　多田和生

【宮城県】
千田文彦　加藤正彰　東北福祉大ハンドボール部　大河原浩気　加藤宏之　山路康男　斎藤節郎　菅間進　相沢義浩　堀籠二郎　高橋長偉　池田加一　三浦昇

【秋田県】
阿部建　小山田富彦　石塚俊子　今野広一　藤原久美子　澤瀬仁美　梁田忠男　沢井春美　三浦高子　佐藤靖　鎌田定明　豊島慶男　長澤養一　半田忠　畠山弘子　松橋千秋　石橋正勝　田口純一　相川綾子　野村光正　加藤時子　藤原周悦　佐藤進　菊地良一　高山重雄　三浦冨美子　佐原久

【山形県】
安孫子功　五島訓二　高橋善浩　本堂良寿　長南他一　仙道勝治　横尾英嗣　星川威雄　押切朝吉　奥山重雄　仁藤清一　八代一　山形南高校ハンド愛好会

【福島県】
中島寿美　関川正道　今野雅益　佐藤雄次　宗形守敏　塩田幸男　遠藤通雄　森功　柳沼正義　佐藤嘉重　鈴木信夫　伊藤友彦　岡部新一郎　熊田栄一　松本清一　三浦正和　田中誠　最上大　伊東豊　菅野正行　三瓶昌久　村上俊一　菱沼一良　伏見士郎　渡部次郎　草野立雄　加藤岳郎　斎藤仁宏　田口侑義　上野覚　笠原高明　平川憲甫　小針三夫　佐川昌嗣　根本真　前川秀道　斎藤昌已　安部信夫　穂積清康　小沼慶二　石井義国　橋本春二　遠藤均　後藤義信　伊藤忠俊　小林和子

【茨城県】
筑波大OG会　筑波大OB会　田中汀子　小板橋潤　北村善夫　柏崎茂　富田拓　矢澤達司　岡本研二　大西武三　麻生フェニックス　住尾勉　大川潤　吉地正丈　砂長誠　山内孝雄　立原定宗　大村久　阿部富夫　橋本政孝　高野実　大月政明　笠間クラブ　塚田芳明　会田真一　鬼怒中学校ハンドボール部　玉造工業高ハンドボール部　水上一　関根邦夫　雨海左武郎　細谷安司　鈴木均　住谷稔　幡谷祐一　吉地かおり

【栃木県】
益子房之助　大出治男　岸裕行　山下勝司　高崎弘　田澤孝一　上野喜美　小西正寿　山岸光子　中山富夫　高橋隆夫　細井操　山下勝俊　川田雄三　伊藤晋　武井一浩　川又克巳　住森憲治　河先修　菅間一　阿部徳之助　石田正彦　日下部高明　尾苗裕美　新開聖　駒場和夫

【群馬県】
伊崎克巳　内藤静子　斎藤光男　越石信次　永井正　宇佐美幸彦　小林進　宮下鎌治　高橋潔　飯田季信

【埼玉県】
井田一博　井上素行　藤間純子　木野実　岡村昭二　佐藤美由紀　入江直子　萩原初江　竹野奉昭　塚田咲枝　佐藤道子　岡村寿子　三浦志雄　佐々木則子　高畠和江　渡邉直美　持田マサ子　渡辺叡子　松本隆栄　杉本友美子　土屋勇太郎　高橋衛　高橋信子　玉田和代　中村恭子　中川幸子　中野ジュンコ　勝沼由季　菅野富男　山本興道　西山逸成　岩本明　勝倉寅男　川畑和司　篠江裕　五十嵐幸治　広瀬喜代香　金賢玉　金丸淳子　船津芽生子　川村純子　後藤恵理　佐々木愛　永尾倫子　鶴狩恵美子　鎌田香名子

【千葉県】
佐久川ひとみ　千葉真紀　穂積知紘　結城香織　斎藤幸司　小林一夫　井上友子　中村甲治　福本弘

【千葉県】
木内兵太郎　木内久美子　山上修二郎　田村幸雄　山本伸二　内田明克　氷海正行　稲生茂　松本滋　仲田稔　辻祥雅　香取秀紀　本間誠章　上中範子　河村レイ子　清水智功　五味崇恵　河村英明　聖徳大付中高ハンドボール部　植村彰　柳田睦子　三井信　東根明人　猪股俊二　池田安亘　山田いく子　永野幹雄　日根野寛　吉田茂

【東京都】
佐藤佳子　江成元伸　兼子真　高橋健夫　田島悦子　高橋英次

後藤 登
市原 則之
今井 敏之
岩本 任弘
大塚 文雄
菅原 恵子
栗岩 淳一
匿名
佐々木 博子
今井 昭子
福地 賢介
脇若 正二
荒木 茂徳
藤原 侑
飯塚 政子
中澤 重夫
佐藤 明美
滝口 三郎
小松 正武
中嶋 治美
羽田 裕一
門井 隆治
矢島 雅明
国立高校ハンドボール部
本多 正樹
佼成学園女子高ハンド部
齋藤 博
落合 由津子
佐野 和夫
駒大ハンドボールOG部
高橋 由紀子
村野 静子
堀江 成典
碓井 裕史
永田 淳子
安藤 純光
石河 廣安
丹野 純一
近藤 金博
勝 繁夫
兼田 佳博
今井 善洋
加藤 祐策
岩佐 又次
水越 元子

川上 整司
大野 金一
渡辺 慶寿
寺田 由紀子
太田 衆一郎
花野 誠夫
細木 建夫
綿貫 敏雄
綿貫 紀子
川口 定男
東京経済大ハンドボール部
下村 亘
張 生
塩川 安賢
小泉 功
豊田 直平
東京工専ハンドボール部OB会
世田工送球会
関 和生
石井 義久
緑川 正博
原 信雄
エモックエンタープライズ
小峰 一晃
橋本 永治
東京学芸大学男子ハンドボール部
川崎 保江
横田 和夫
中村キングクラブ
野村 進
新家谷 隆男
河内 鋭雄
神津 信一
上原 信子
佐藤 和孝
匿名
専大付高校ハンドボール部
三沢 澄
福井 久子
【神奈川県】
真田 元
村松 英美
近久 紀人

松井 正敏
大城 和彦
神尾 陽子
川村 久子
山田 啓太
西本千賀子
玉井 晴雄
澁谷 正道
新井千鶴子
齋藤 達也
佐分 正典
村松 誠
植村 繁
若崎 重武
南木 雅弘
大東 秀明
上林 正明
三浦 公
財部 重彦
若月 博
黒澤 邦夫
堀越 進
中村 吉宏
森川 利昭
宮原藤 支男
海保 和夫
栗城 紘一郎
池田 茂郎
山田 哲雄
渡辺 靖弘
川辺 孝夫
小見 幸男
近藤 正栄
斉藤 慎太郎
【山梨県】
千野 恒夫
清水 正
植野 保
清水 剛
齋藤 実
栗原 富貴子
三枝 慶彦
窪田 善文
平岡 秀雄
興石 順一
手塚 寿郎
窪田 正典
菊島 哲也

天川 正次
小池 道春
塩山ハンドスポーツ少年団
雨宮 義利
【新潟県】
小松原 金二
大矢 三郎
ホテル新潟
高橋 保
【長野県】
青木 崇
加藤 雅之
中澤 文子
中澤 正巳
手塚 伸
服部 博幸
春原 紘一
中村 栄孝
望月 豊
岩下 道範
名取 守二郎
井出 正一
油井 孝一郎
竹内 佳明
桜井 重治
【富山県】
沢井 淳一
嶋田 重春
中川 周三
山口 吉弘
吉水 慎一
嶋田 新太郎
徳前 哲人
金原 至
大谷 正則
村岸 治幸
中山 圭三
金 明恵
木下 晴雄
飯山 進
宮崎 恒
小川郷 太郎
【石川県】
二口 昭夫
米谷 恒洋
荷川取 義浩
川端 孝一

牧 浩二
古橋 幹夫
酒谷 信彦
曽谷外 茂雄
八日市屋 進
安部羅 大造
浜野 大助
北岡 克彦
井川 邦彦
高体連ハンドボール部
北川 昭栄
【福井県】
越田 義昭
志々場 修二
藤井 善彦
竹野 誠司
中村 勝司
左司 勝三
竹野 秀輝
㈱フクセン
武生東高ハンドボール部
福井商校ハンドボール部
東 哲郎
今村 豊
稲崎 博行
【静岡県】
鈴木 義紀
片瀬 喜代次
田中 弘子
清水 保雄
稲森 照男
斉藤 多
坪内 伸浩
栗山 聡
寺田 嘉一
細沢 覚
佐塚 浩徳
石川 直樹
高橋 久仁和
伸山 毅恵
内藤 岳
【愛知県】
中島 正貴
宇津野 年一
早川 弘三

村木 啓作
角 紘昭
梅村 忠雄
早川 真澄
横地 宇吉
稲石 三二
新井 友彦
鳥居 晴久
浅野 克彦
栗脇 疑
矢野 哲二
小野 正雄
禰津 行雄
野田 清
柳川 清
藤中 憲二
花輪 博
柳川 実
中本 明
蒲生 満明
清崎 晴隆
林 浩司
佐藤 光夫
土川 一樹
中本千 和紀
名取 和成
森山 稔
富石 淳
田中 保彦
高村 誠一
内藤 浩樹
林 康一
林 珍錫
末岡 政広
佐藤 壮一郎
秋吉 哲男
植木 寿憲
濱野 健一
阿萬 隆文
藤井 孝志
酒勾 康二
米倉 巧
荻本 将勝
清水 博之
冨本 栄次
松本 光則
柴田 大介
日原 一幸

中谷 友和
南川 裕孝
金子 尚司
笹西 直大
和田 宏治
稲生 嘉宏
村松 清
溝口 博一
市川 修
小林 きよみ
小林 ますみ
吉金 勇
松原 英司
河合 龍二
神尾 心一
山田 透
平松 学
山田 幸男
河合 千丈
太田 耕治
伊藤 和夫
正色スポーツ少年団
西川 勤也
山崎 正利
河合 弘
宇栄原 幸政
稲住 晋二
日比登 史男
鈴木 淳藏
渡辺 貞彦
川島 克之
杉村 正一
久本 直明
岡崎 直哉
難波 興治
【三重県】
笹川ハンドボール少年団
栗本 士郎
田村 金子
田口 隆
鈴木 義男
石井 勝
山村 敏之
藤井 孝一
橋本 行弘
木下 憲司
高木 俊明

弥吉 圭一
丹羽 昭文
後藤 信幸
茅場 清
長谷川 貴洋
谷村 貴郎
加藤 圭介
笹浪 重俊
広政 宜孝
平松 茂雄
松原 晋哉
中里 賢二
四方 篤
日原 正和
新實 俊夫
平賀 達也
西村 仁志
夏目 真治
松岡 富夫
【岐阜県】
斎藤 和義
福田 直行
森川 俊章
杉本 真一
大洞 五十七
上野 毅
加藤 隆広
今井田 康雄
上妻 忠夫
峰岸 正之
豊島 康彰
古宮山 喜邦
吉田 元
鈴木 義久
中島 康
【滋賀県】
北川 裕之
尾本 和男
秋永 昭治
佃 幸太郎
清水 哲哉
【京都府】
審 愛玲
吉田 博二
杉本 洋一
小西 博喜
藤本 昇
西田 充

橋本善次　山中昭治郎　堀田靖人　西村成晴　岸本光夫　林ひとみ

【大阪府】

東 嘉伸　服部秀人　四方洋子　森本正毅　望月伸三郎　緒方嗣雄　小森園多恵子　山中善之祐　幸田良一　塩川正十郎　神田清　井上真也　戸田栄一　村田弘　花畑平男　松尾信一郎　北岡大覚　家永昌樹　久保義雄　木田武夫　岩佐邦彦　繁田順子　渡邊巌　吉田正明　佐谷光一　浅井隆志　吉田敏明　吉沢力男　近藤善重　福島富造　寺内哲之　村上善英　浅井安子　宍倉保雄　光島磯雄　村尾亮　近畿高体連ハンドボール部　山崎武　土井秀和　榎原嘉之

中出盛雄　山田稔　高橋精一　志賀良弘　大林欣子

【兵庫県】

西澤倫雄　殿水幸雄　長 靖磨　大原康昇　小島正男　花房保　岡田茂夫　丸茂康子　北山隆　藤原豊　村上潔　浜田浩嗣　泉 滋　山中正俊　樫塚正一　早川清孝　石井信行　馬場保夫　島崎政治　狩野幸介　幸田末之　柿木国夫　坂本敏雄　井上亮一　荻田勝紀　植村彦一郎

【奈良県】

中川敏文　西村佳千　中井公人　佐々木英明　中畑明郎

【和歌山県】

笠中喜次　尾高義彦　能木進　山田進　串野寛　田中秀和　熊井利夫　上野昌之

【鳥取県】

松原紀機　石黒豊　里 和則　高木敏行　浜田彰　小澤敏正　松本吉司　明穂光也　早田博之　稲葉昌治　田中宏明　望月裕之　森脇要　木田慎介　森本泰夫　足立晴夫　吉田達明　鳥取県高体連

【島根県】

宇津徹男　斎藤隆　船江昭光

【岡山県】

藤井俊朗　森安昭雄　浅香又彦　小嵐昭子　中山学　片山透　大熨嘉彦　黒住宗晴　山下知巳　倉敷工業高校

【広島県】

峠野光伸　浜本忠志　坪根敏宏　加川厚　杉山裕一　小沢勝利　山口修　松谷丈裕　飯田一郎　高田浩志　中山剛　田中雅彦　多田恵久　松本暢

B.R.BRAMANS　堀田敬章　河原隆雅　藤永清　津川昭　戸田政弘　藤本康生　井藤英忠　楢原隆雄　奥田新治　玉村健次　長沢純平　酒巻清治　西元義昭　槇岡辰男　山下泉　不破亨　草井由博　スタンドレモン　奥川和永　東 昌弘　山西泰明　高西宏昌　平田幸男　片岡賢司　塩見博　小林能治　日野栄二　穴井秀徳　野中宏洋　冨松宏一郎　堀田幸夫　鮎沢潤　貝田良寛　三浦孝　木村信弥　角谷裕司　林原洋仁　泉喜久男　宇田川竜也　水谷和嘉　伊藤豊　西山清　源内利之　坂口俊幸　楠原誠吾　湯中勝　林昌英

原 康司　花本大輔　岩西正憲　中本成基

【山口県】

白井謙次　飯田弘昌　岡井幸由　青木操　山根安彦　明石雄次　増田雅夫　宮崎太郎　古富博　守田政生　溝部弥三郎　常田隆　中村時雄　柳井文治　田原正美　大片恵美子　原井進　角 直樹　加藤晃　藤井拓生　明石英利　藤井真　山上雅弘

【香川県】

楠原敏明　大谷和彦　小早川道孝　藤沢秋義　佐藤昌弘　松原忠　香川県ハンドボール協会　横山和司　上濱清司　香川選抜チーム　末澤光夫　河合哲　片岡幸夫　亀井好弘　大林一友

【徳島県】

半田忠史　川島文代

【愛媛県】

越智武　河本武夫　野中聴　伊藤演哉　高橋満年　毛利尊志　長野真太郎　大亀裕　正岡勝英　川田哲也　竹村久晴　松原久士　松原誠起　佐藤実　山崎幸夫　田中達男　堺 賢治　今井茂宏　森田政志　越智紀子　矢野龍一　武智誠治　真木崇　松浦美香　石川達也　上野裕司

【高知県】

岡本憲和　岡村博三　清水修　熊沢徹郎　川崎英雄　片岡修一　高橋良忠　青木啓司　武田末男　沢田哲雄　有光正憲　井上敏　高橋卓也　葛目憲昭　佐賀厚幸　谷勝敦　成岡真　南クラブ　高知南高男子ハンドボール部

高知南高女子ハンドボール部　岡豊高男子ハンドボール部　岡豊高女子ハンドボール部　小松和久　宮崎光一　高野卓悦　中川利彦　高知東高ハンドボール部

【福岡県】

田中守　松本浩志　古賀信男　稲積茂紀　篠崎省吾　森山正治　中西敬一　中川英二　大場正志　新荘悌男　和佐野健吾　森川嘉人　日野祐一郎　佐伯紘一

【佐賀県】

土井垣　佐賀農業高ハンドボール部　高木健恵　吉田和治　貞島早苗　甲斐忠義　久保田秀光　松尾嘉信　中園嘉彦　水田正文

【長崎県】

石井道義　原田国男　池田寅勝　今村豊嗣　海自佐世保地方隊　新井善文　諫早乳業株式会社　和田旬功

林信義　河田誠　山川周二　県ハンドボール協会　市ハンドボール協会　浅田五郎　末次功　青井正弘

【熊本県】

熊本クラブ　村上建二　高田憲之　矢住嘉孝　横山紘二郎　大島隆志　井出和洋

【大分県】

疋田忠　横瀬西ハンドボールクラブ　生野彰雄　佐藤喜一　川西良廣　福田稔

【宮崎県】

坂元平　宮元章次　佐藤一一　堀之内真澄　末廣芳文

【鹿児島県】

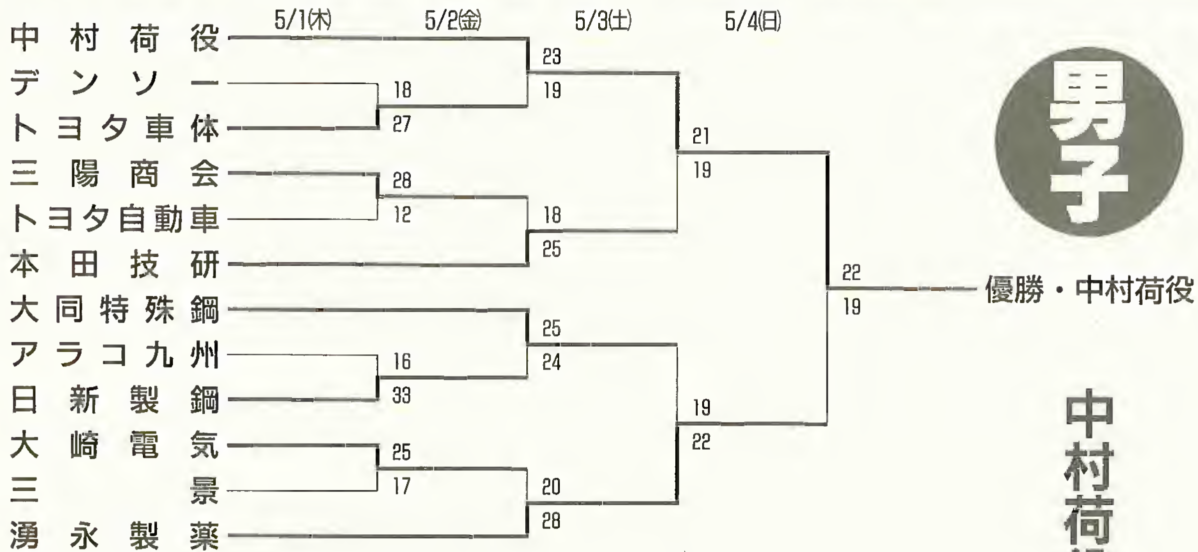
井料たか子　本田娟一　蒲山尚志　谷川洋造　岡山明弘　近藤實　西花文雄　山崎千加子　奥山誠恒

【沖縄県】

荷川取孝志　新垣健　嘉陽宗陰　東恩納盛英　佐久本浮

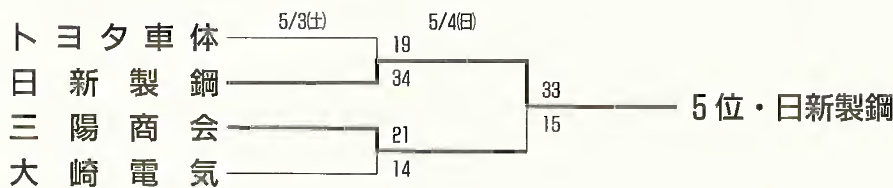
ンドボール選手権大会

男子

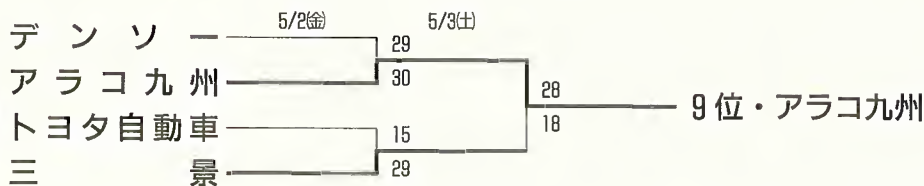


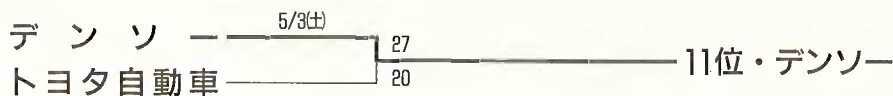
中村荷役が2年連続3回目の優勝









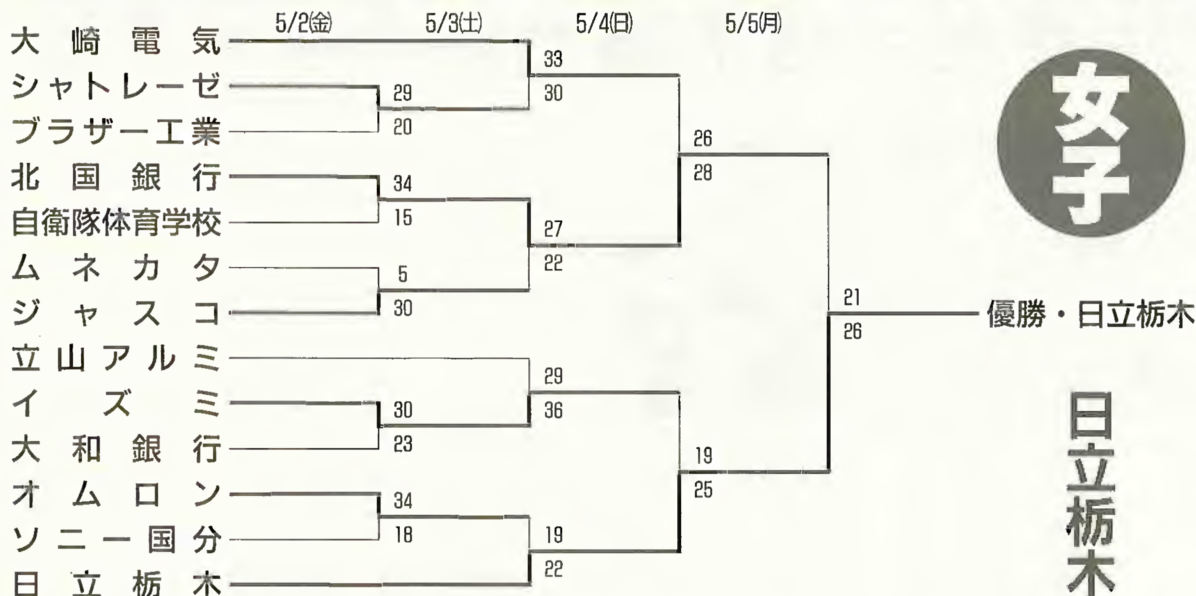


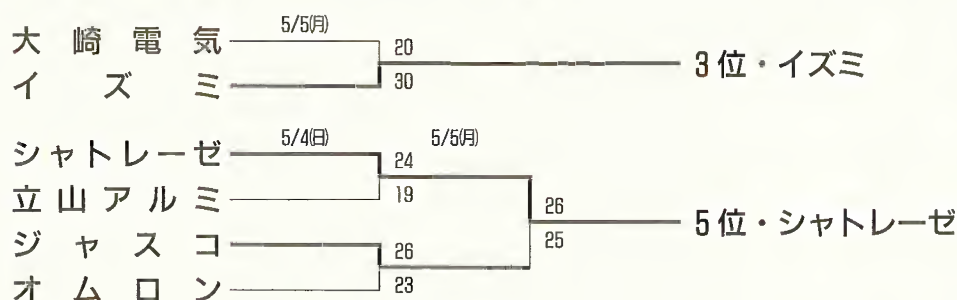
※大会の詳細は次号でお伝えします。

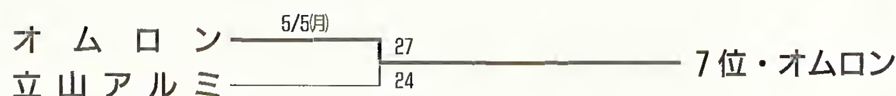
第38回全日本実業団ハ

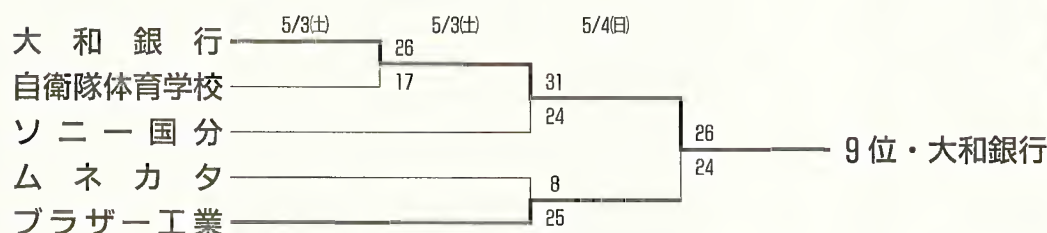
女子

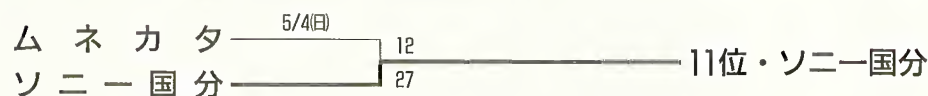
日立栃木が11年ぶり2回目の優勝











自衛隊体育学校 ―― 13位・自衛隊体育学校

第6回アジア女子選手権
兼世界選手権予選出場選手決まる

第6回アジア女子選手権（兼第13回女子世界選手権）が6月4日～9日までヨルダンで開催される日本代表メンバーを発表した。この大会には6ヶ国（日本・中国・カザフスタン・韓国・台湾・ウズベキスタン）が参加する。前回（'95年）日本は韓国・中国に次いで3位だった。なお、この大会は'97年11月末～12月上旬ドイツに於ておこなわれる世界選手権大会アジア予選も兼ねている韓国はすでに世界大会の出場権を確保（'96年世界大会優勝国）し、残り上位3枠が与えられていることになっている。全日本女子は熊本・山鹿市の合宿で筋力アップ、速攻にみがきをかけている。若いチームだけに出発までゲームを多く取り入れて大会に臨む。



団　長	金原　至	日本協会理事
監　督	樫塚　正一	武庫川女子大
コーチ	西窪　勝広	オムロン
〃	井上　亮一	夙川学院
ドクター	佐久間克彦	熊本赤十字病院
トレーナー	才田　浩之	金沢大学付属病院

	氏　名	所属先名	生年月日	身長	体重	出身高校	出身大学	出身地
1	松尾　香代	ジャスコ	1972.4.13	171	60	初芝高校	大阪体育大	大阪府
12	山下美智子	大和銀行	1976.1.5	177	68	宣真高校	——	熊本県
16	山口　文子	オムロン	1975.10.22	172	69	境高校	——	鳥取県
2	田村　啓子	オムロン	1972.9.29	166	60	華陵高校	武庫川女大	山口県
3	山形　雪子	ジャスコ	1972.11.20	160	55	初芝高校	大阪体育大	鳥取県
4	後藤　園	オムロン	1974.7.21	173	69	日川高校	日本体育大	山梨県
5	上出恵美子	北国銀行	1973.5.17	168	60	小松商業高	——	石川県
6	松本　恵美	日立栃木	1973.7.6	172	70	国学院栃木	——	栃木県
7	青戸あかね	イズミ	1974.7.11	164	62	山陽女子高校	東京女体大	石川県
8	硲　美樹	ブラザー	1974.11.20	175	68	洛北高校	大阪体育大	京都府
9	杉原　奈々	オムロン	1973.4.9	158	56	添上高校	武庫川女大	奈良県
10	田中美音子	大和銀行	1975.1.14	160	55	四天王寺高	——	大阪府
13	辻　賀奈子	ジャスコ	1975.2.13	162	58	洛北高校	大阪体育大	京都府
14	田口　順子	日本体育大	1975.9.26	167	68	松橋高校	——	熊本県
15	田中由美子	北国銀行	1975.7.25	176	68	小松商高校	——	石川県
17	藤浦　美絵	大和銀行	1975.12.19	171	70	夙川学院高	——	兵庫県

日本リーグ初出場チーム紹介

日本ハンドボールリーグにチャレンジ

ケー・エフ・シーハンドボール部長　吉澤　力男



ケー・エフ・シーハンドボール部は、平成6年に自然発生的に社内愛好者の自発的活動から誕生しました。7年から会社の「ハンドボール部」として本格的に活動を開始した若いチームです。創部4年目であるためのことながら過去の栄光は何もありません。

会社は、本店を大阪市の老松町（天満宮の近く）に置き、土木・建築に関する建設設計資材の製作を業としております。選手は、大阪府内の事業所に勤務しており、今のところ週3回の練習をもって試合にのぞんでおります。チーム創設当時、選手はギリギリの8名で、40才・50才代が5名（いずれも関西学生当時の名選手）平均年令38才というスタートで、25分ハーフがもたず、交代要員もいない、その上肋骨を骨折し、部長職にあるため、会社を休むこともできず、痛みを我慢しながら仕事をしたという笑い話もあります。



第48回全日本総合ハンドボール選手権大会 平成8年12月5日~8日 東京体育館

日本リーグに定着を

日本リーグは、昭和50年に創設され、本年で第22回目を迎え、ハンドボール界にとって伝統と歴史のある最高運営機構であります。また、所属チームは、社会的信用の高いハンドボール界の名門企業ばかりです。このような「日本リーグ」に弊社チームが参加できる光栄によくしチーム関係者一同感激しております。日本リーグに入れた以上は、皆様のお荷物になることなく2部をキープし、1部をうかがえるチームづくりに向け監督をはじめ選手一同決意を新たにしているところであります。チーム構成は、社歴30数年の幹部社員（関西学生ハンドボール界で活躍）を監督に、主将以下選手は若手社員で占めていますが、試合展開によりベテラン選手を起用するケースがあると思います。その中に44才の穂積選手の顔が見られるかもしれません。とにもかくにも、ようやくチームとしての形態が整った集団です。アマチュアスポーツとして許される範囲で練習をつみ重ね弱点の補強を行ないながら日本リーグの名に恥じない品格を保ち、ハンドボールを楽しみ強いチームへの基礎づくりにまい進して参ります。

ホームゲームを大切に

最後に「ホーム&アウェイ方式」のホームゲームの運営です。これもチームのスタッフにとって大切な仕事です。私は、大阪地区の1部所属チーム・大和銀行と同時開催によりいろいろ方策を講じ、品質の高い試合を展開し、やるからには一人でも多くの方に試合を楽しんでいただきたいと考えております。このためには、近畿地区の府・県の協会及び各連盟にお願い、協議を重ね、前座試合等をも充実し、皆さんに「来て良かった」と喜んでいただけるイベントにしたいと努力して参ります。

以上ケー・エフ・シーのチーム紹介と抱負を述べましたが、ハンドボール界発展の一助にと頑張りますので、今後ともよろしくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

■戦歴

1　平成7年
(1)国体2部4位
(2)チャレンジ96　ベスト8

2　平成8年
(1)ジャパンオープン　2位
(2)日本総合　1回戦
(3)チャレンジ97　4位

アジアハンドボール医事委員会報告

アジア
ハンドボール協会
医事委員
医科学委員長
西山　逸成



1997年4月9・10日アンマン市（ヨルダン王国）で実施されたアジア・ハンドボール医事委員会（ASIAN HANDBALL FEDERATION. MEDICAL COMMITTEE）に出席したので、その概要を報告する。

場所は、ヨルダンオリンピック委員会事務局会議室（AMMAN市内）で実施された。会議の出席者は、我々AHF／MCの3名でヨルダンのサリー・ハムダン委員長（Dr Sari Hamdan）、パキスタンのムスタタブ委員（DrMustatab Ahmed）、日本の西山逸成委員であり、韓国の朴委員（Mr Inchool Park）及びイランのアレナビ委員（Dr Mrs Taliee Alenubi）は不参加であった。

なおこの委員会の陪席者は、ヨルダンオリンピック委員会医事部長以下3名の役員ならびにハンドボール協会関係者5名であった。

委員長のサリー・ハムダン氏は、ヨルダンハンドボール協会会長であり、ヨルダン大学の体育学部副学生部長でもあり、専攻の1つは体育教育学分部と紹介していた。

会議内容は、前回委員会報告及び今後4年間の事業内容等の協議が行われた。

一、前回（1992年8月パキスタン）の協議内容の報告（ムスタタブ前委員長・現在委員）

二、AHF理事会総会（1997年7月ヒルトンヘッド・米国）の議事録から医事委員等の新役員が紹介された。

三、AHF／MC委員会の今後4年間の（1997〜2000）の次の主要スケジュール及び主要事業を検討した。

①医事委員会を例年1回実施基準とし、実施場所は、アジア選手権大会(男・女、ジュニア男・女)地域で大会前に実施する。

②主要事業としては、ハンドボール選手の傷病の特性を追求するため、参加選手の傷病の過去の受傷状況等の既応歴、幼少時からのスポーツ経験としての種目・開始年令・大会参加経験としての競技歴等をアンケート方式で大会参加チームに配付し、調査結果はAHF全加盟連盟に送付する。

四、ドーピング・コントロール（Doping Control）及びアンチ・ドーピング（Anti-doping）の規則や現況について討議した。

①現在のIHFアンチ・ドーピング規則の問題点として規則第9条では、「……分析結果は次の試合が始まる2時間以上前に、ドーピング検査を受けた選手のチームに通知されなければならない」（1996年7月IHF理事会総会で改正された条文であり、改正以前には〝検体の検査結果は、検体到着後、48時間以内に報告されなければならない〟であった）という内容では、ヨーロッパ環境とは異なり、現在のアジア地域では、適用が困難である。

何故ならば、アジア地域内では、IOC認定の検査機関は、日本（東京）・韓国（ソウル）・中国（北京）のみであり、中央アジアからこれらの東アジアの検査所に運搬するには経費（検査費・輸送費）が余りにも高価であり、かつ検査時間に長時間を必要とするので現況に即応していない。

『例として熊本男子世界選手権大会を事例にとれば、熊本市から1300kmの遠隔地であるため、試合後に採尿（夜間深夜が通例）するので翌朝1番機で東京に運搬するので検査機関（三菱科学研究所）に翌日の正午到着、直ちに午後検査開始しても、検査時間には少なくとも24時間が必要であるので、いくら円滑でも検査結果がドーピングコントロール責任者に報告できるのは、採尿2日後の午後1時となる。』

この検査時間の問題点としては、物理的に2時間前迄に検査結果の報告のできない試合が予測できることになり、大会関係者に対しドーピングコントロールの目的も損うおそれが生じてくる。以上の見地から大会開催国の地理的条件によって、検査結果の報告時間には柔軟性を与えるべきである。

五、女子アジア選手権大会（1997年6月4日〜12日アンマン市）時のドーピング・コントロールの実施の有無について

実施を前提に討議したが、アジア地域内の公認の検査機関及び検査費用、輸送費用の面から主催国予算問題の検討結果から早急にヨルダン組織委員会とAHFで検討することとした。

六、IHF／MCの国際審判員の持久力養成のための体力テストや体力トレーニングの現況やトレーニング方法について計画・実施することを更に検討していく。

七、第3回スポーツ医学・ハンド



ボール国際学会の実施要綱について

①日程

5月28日18:00～21:00受付・歓迎
　29日9:30～18:00発表
　　19:00～22:00学会員会食
　30日9:30～18:00発表
　　19:00～21:00会員懇話会
　31日9:30～13:00発表・閉会

②参加者は、海外会員50名、日本会員20名および参加選手団関係者で約80名規模となる。

八、熊本世界選手権大会時のAHF／MC関係参加者は、3名であり、5月29日に予定されているAHF理事会の前後にIHF／MC及びJHA／MCとの会同をもつことを計画する。

最後に、第6回女子アジア選手権がヨルダンで開催のため、準備状況を紹介する。

日程としては、アンマン市で6月4日から女子世界選手権アジア地区予選が実施されるが準備状況の質問に対し、サリー学会長は、『選手団の宿泊ホテルは5つ星で3食90ドルを準備、チームは6チーム（中国、韓国、カザフスタン、ウズベキスタン、台北、日本でヨルダン女子チームは創設したばかりでまだ競技力水準が低いので参加しない。日本チーム来訪時には、ビザはアンマン空港で取得（18ヨルダンデーナル、25ドル）されたい（事務局、チーム監督には通知ずみ）』と要望していた。時差は7時間遅れ、電気は220ボルト・50サイクル、気温は日本とほぼ同じかやや低温の感じがした。食事内容は、国際色豊かで今の選手層には問題はないように感じる。民情は外来者には親切・丁寧で治安にもさして不安は感じなかった。ただ航程は機上時間が長時間（筆者は東京～ロンドン12時間、ロンドン～アンマン約7時間）にわたるので健康の自己管理は当然必要となろう。

東アジア地域でも機会利用で当委員会の開催が望ましい。

審判委員会インフォメーション

ハンドボール競技規則誌上講習会

審判委員会

ハンドボーラーの皆さんのルールに関する疑問にお答えしたいと思います。㈶日本ハンドボール協会審判委員会宛に質問をお寄せください。

今回はゴールキーパーにボールを返した場合に関する質問です。

「サイドディフェンスA5は、シュートのリバウンドボールをキャッチしたが、相手にガードされたため、逆サイドのA7にパスをした。それを見たゴールキーパーA12は、既に速攻のスタートを切っているA3にパスをしようと、エリア内でジャンプして、空中でボールを取り、プレイングエリアに降りた後でA3にパスをした、A3が相手ゴールにシュートを入れた場合の判定は?

また、A12が空中でボールを取り、そのままパスをして、その後プレイングエリアに降りた場合は?」

「サイドディフェンスB5は、シュートのリバウンドボールをキャッチしたがパスするところが無く、プレイングエリアに出ようとしているゴールキーパーに仕方なくバウンドパスをした。しかし、ゴールキーパーはまだ完全にプレイングエリアに出ておらず、慌ててジャンプし、ゴールエリア内でバウンドしたボールを空中でキャッチし、プレイングエリアに着地した場合の判定は?」

正しい判定は、前者が「どちらの場合もプレイ続行でゴールイン」、後者が「7mスロー」です。

ゴールキーパーにボールを返した場合の判断のポイントは2つあります。

ひとつめは、故意に行ったプレイかどうか?

ふたつめは、ボールに触れた時に、ゴールキーパーがゴールエリアに属していたかどうか?

前者の場合は、A5がA7にパスをしたとレフェリーが判断しているので、7mスローにはなりません。

後者の場合は、B5がゴールキーパーに故意にパスをしていると判断しています。さらに、ゴールキーパーがプレイングエリアに着地する前にボールに触れているので、まだゴールエリアに属していると判断して、7mスローが判定されます。

ポイントを整理しましょう。

ボールを返した動作の種類は関係ありません。投げる、タップ、キック、叩く、ヘディング、転がす、弾く等の動作には関係なく、ボールを返した行為が故意に行われたものであるかどうかが判断されます。故意かどうかの判断はレフェリーが行います。

ゴールエリアに属するゴールキーパーがボールに触れた場合に7mスローになります。ゴールエリアでジャンプしたゴールキーパーは、プレイングエリアに触れるまではゴールエリアに属します。プレイングエリアでジャンプした時には、ゴールエリアに触れるまではプレイングエリアに属します。

故意に返されたボールが、ゴールポストで跳ね返ったり、ゴールエリアを横切ったりして、プレイングエリアに戻れば、プレイ続行です。もちろん、ゴールに入れば相手の得点です。ゴールキーパーが触れずに、ゴールエリアで静止したり、アウターゴールラインから出た場合には、フリースローになります。

学校体育ハンドボール検討委員会

簡易ハンドボール授業実践報告まとまる

(財)日本ハンドボール協会普及委員会では、小学校の体育教材の中にハンドボールが取り上げられるよう検討を進めております。このためにはハンドボールの体育的価値、文化的価値が文部省に認められるよう実践や、研究報告が必要となってきます。このほどその一部が公表され、小学校体育教材として取り入れられるための努力が積み重ねられています。全国各地でさらなる実践が行われることを期待いたしまして、今号より諸先生方の実践報告を順次掲載いたします。

なおこの担当は秋田大学の佐藤靖先生です。これに関してのお問い合わせは佐藤先生までお願いいたします。

簡易ハンドボール指導の実践報告について

茨城県猿島郡猿島町立生子菅小学校　野口　美千代

❶ 単元名

ハンドボール（ボール運動）

―6学年―

❷ 子どもたちの準備状況の把握

体力や技能について

スポーツテストの結果を見ると、本校の6年生は、昨年から県平均を下回っている種目が多い。種目別に見ると、特に「踏み台昇降運動」「反復横とび」「50ｍ走」「ソフトボール投げ」は、県平均よりも下回っている。「50ｍ走」「ソフトボール投げ」においては、町の健康教育の中にある「体力・運動能力考察」として毎年県平均を下回っているため、課題とするよう提案されていた種目でもある。

❸ ハンドボールの授業をするにあたって

本校の運動能力の実態から『走力』『ボール投げ』が低迷している現実を踏まえ、バスケットボールとサッカーの技能を取り入れたハンドボールを経験させることによって、「走る」ことや「ボール投げ」の動きの総合的な運動の能力を伸ばせるのではないかと考えた。さらに、新しいボール運動に取り組むことで興味・関心・意欲を高めながら、あわせて思考力・判断力・技能を高めていけるという特性も生かしたいと思う。

また、たとえばポートボールやバスケットボールでは、ゴールマンや守りにしろ、身長の差によって有利不利が出てしまうなど、シュートについての不均衡があるのに対し、ハンドボールは身長の差による有利不利が出にくく、シュートは、直線的で投げやすいこと、力いっぱいゴールに投げ込む快さがある特性があるといえる。

❹ 学習の目標と工夫した点（※印）

(1)みんなで話し合い、ルールを工夫したり（共通ルール）、グループで互いに協力しながら励まし合い、楽しく運動することができる。（関心・意欲・態度）

※実践①の場合＜得点の工夫＞

A：同性グループ（男子、女子）の場合と、B：混合グループ（男女）でのルールの工夫

A―①通常の得点ルール（1点）
②初得点2点→2本目から1点
③5対5（プレイヤー5人）の場合→全員1度でもボールに触れていれば、得点が5点

B―①男子：1点　女子：3点
②初得点（男子2点、女子4点）→2本目（男子1点、女子3点）
③5対5（プレイヤー5人）の場合→全員1度でもボールに触れていれば、得点が5点

※実践②の場合＜コートの広さの工夫＞

コートの広さはその都度人数により変動させる。

ゴールエリアの工夫：ゴールキーパー（女子）が慣れるまで、正規の広さよりも広くした。ゴールキーパー（男子）シュートをしやすくするため狭くした。

※実践③の場合＜フィールドプレイヤーの人数の工夫＞

各チーム4人：十分動けるように、またボールが回るように試みた。（ゲーム時間―5分）

各チーム5人も同様（サイドライン20～30ｍ、ゴールエリア5ｍ）

各チーム8人：攻撃4人、防御4人に分け、それぞれセンターラインをこえないようにする。

※ルールについては、児童の実態に応じたものを一緒に考えながら、追加修正していく方法を取り入れた。バスケットのピボットのくせが直らない場合が多いので、それもいいこととした。そして、児童の技能の高まりに応じながら、少しずつルールを増やしたり、高めたりしている。

(2)個人やグループの課題を解決するための練習を工夫することができる。（思考・判断）

※従来のボール運動の種目として、バスケット（女子ばかりのシュートが多い）、サッカー（男子ばかりのシュートが多い）という反省を生かし、みんなで楽しめるボール運動はないかという子どもたちの声を取り上げるよう工夫させた。

(3)自分のめあてを達成できるように、パスやシュートを練習したり、守りや攻め方などの集団技

能を身につけることができる。
（運動の技能）
※身長や、運動能力に大きく左右されず、ボールを投げることができれば、誰にでも得点が可能な運動であるため、進んで取り組んでいた。
(4)コートや施設・用具の安全に留意して練習やゲームができる。
（知識・理解）
※ボール運動が苦手な子の中に、ボールの大きさをあげる子もいた。そのくらい大きいボールには抵抗があった子も、ハンドボールの大きさは抵抗なく入れたということであった。

⑤ 指導にあたって

授業への取り組みでは、新しいボール運動への挑戦からか、大変意欲的にシュート練習をする姿が見られる。また、徐々にグループごとに課題解決のための練習の仕方を工夫してできるようにもなってきている。多くの運動を経験させることにより、さらに興味・関心・意欲を引き出せる他に、技能の向上はもとより全員が楽しめることを目指していきたい。

★授業の感想

はじめて学ぶハンドボールの学習をし、最初は「どういう、運動か？」戸惑いがあったようだったが、手で扱って、投げたり、相手の守りを突破してゴールにシュートするゲームは、バスケットやサッカーのそれぞれの要素を取り入れた運動ということで、抵抗なく取り組むことができたようだ。

また、反省や感想にもあるように、楽しさやおもしろさがわかり、男女混合で練習内容やルール作りに、意欲的に取り組めたと思う。

シュートもはじめは、一般にいうステップシュートだったようだが、徐々にジャンプシュートの形もできるようになり、使い分けてシュートするようにもなってきた。キーパーも男女にとらわれずに希望を生かしたところ、どちらも意欲的に取り組み白熱した試合となった。

★児童の課題を生かした練習計画の例

子どもたちは、前時の学習をとらえた課題（各チームごと、チームのメンバー個々がもつ技能や特徴をどう生かすかなど…）に基づいた戦術を準備して、授業に臨んだ。その戦術はそれぞれのチームが、休み時間・放課後など自主的に集まって構想したものである。

ルール作りは、最初子どもたちからの提案どおり決定したもの（得点方法やコートの広さ・プレイヤーの人数）を取り入れたが、その都度授業が進むにつれ、いろいろな方法でもやった方がおもしろいということになり、次のようなルールが生まれた。

●単発シュートが多いチームに対して児童が考案したルール
「ドリブルなしのゲームから入り、その後ドリブルを導入していくルール」

ドリブルを禁じて、ワンマンプレーを生みにくくすることにつながる。つまり、見ているとコンビネーションが必然的に生まれてくるのである。

■ドリブルを使用しないゲーム（4対4）の例

○パスによる戦術を立ててゲームをする。
5分×2　コート：ハーフコート
課題として、「パスをどうつなげば、シュートにつなげることができるか」
○ゲームの記録からチームの課題をとらえる。

★運動能力の向上

「ハンドボール投げ」において、平均＋（プラス）2～3mの更新が見られた。また10m以下のものが5名に対し、全員13m以上（キーパーを希望した女子においては、10mから20mの10mの伸びを見せた）向上した。

⑥ 考察

体育授業の究極的な目標は、体育・スポーツにおける主体性を育てることにあり、それは自主的・自発的な体育学習を標榜する新学力観に立った授業づくりそのものだと言える。生涯体育・スポーツの普及・発展をめざした体育学習を求めて、何を教材として取り上げ、どのように指導すべきか、そして、子どもたちに何を学び取らせるのかを明らかにした授業づくりを進めなければならないのではないだろうか。その一貫として、まず子どもたちが興味・関心をもって楽しく取り組むことのできる教材づくりが問われることになる。

これからの授業づくりにおいて大切なことは、子どもたちの興味・関心をとらえ、子どもたちみんなに楽しさや技能を学びとらせるような、活動の中身を吟味することではないだろうか。とりわけボール運動において、一定の子どもが活躍する一方で、何人かはチーム内で疎外されたりしている状況が生まれやすい。それでは、全員が楽しめるボール運動にはならない。

そのため、学年の発達段階に応じながら、幅広くいろいろな運動を経験できるためにも、従来のバスケットボールとサッカーにとらわれない、どちらの要素も兼ねそろえた『ハンドボール』を教材として取り上げたことによって、みんなで楽しんだ教材となったのではないかと考える。小学校時代にこそ、様々な特性を持つ運動に触れさせていくことが大切であると思う。

活性化へ
若者の心を知ろう

企画・広報委員
早川　文司

フリースロー Free Throw

日本ハンドボール界の〝悲願〟だった世界選手権が終わり、今後の課題は「ポスト熊本」に移る。ワールド・イベントを開いたエネルギーを国内の活性化にどう結び付けていくか、最大の任務である。早急に取り組まなければ、熊本が何のための開催だったのか、意味がなくなってしまう。

世界選手権をやり遂げたという満足感に酔いしれる暇はない。世界のスポーツ界は超スピードで変革を遂げ、各競技団体は次々と新しいアイデアでアピールしている。少しでも停滞すれば、流れから取り残されることは明らかだ。不平不満や足の引っ張り合いなどしていても始まらない。〝ハンドボールへの愛〟はいずれも十分に持ち合わせているはず。これを一本の糸にいかに早くつなぎあわせるかである。

活性化に何よりも欠かせないのは、魅力あるニュー事業の展開だ。とくに若年層をひきつけることだ。それにはフレッシュな視野が必要だし、時には奇想天外な発想も大切だ。そうした感覚を持った人材の発掘と登用も考えなくてはなるまい。

現代の若者が今、何を求めているか、最も魅力を感じるものは何か一時代の流れをきっちりつかむことだろう。

そして、ハンドボールという競技をどれほどの人が知っているか、どんなところに興味を示すかなどのアンケート調査をしてみればどうだろう。競技者だけでなく、一般の人を含めてこそ初めて素晴らしいアドバイスが得られるはずだ。

それによって若者がどういった趣味趣向を持っているかも分かる。心を知る手だてにもなる。それを巧みについての事業展開も可能だろう。

とにかく、若者に〝ノリ〟を体験させることから手をつけたい。そのためには各界のアイデアマンの知恵を借りることも必要だし、生の声を聞くことも欠かせない。協会挙げて取り組む必死の姿勢を見せることではないだろうか。

ヤングパワーをどのようにハンドボールに振り向かせるか一活性化事業を立案するうえでの大きなテーマであろうと思うし、絶対に避けて通れない道ではないだろうか。

全日本オルソン監督の指導方針

<table>
<tr><th>項目</th><th>時期</th><th>ね　ら　い</th><th>具体的な内容</th><th>備　　考</th></tr>
<tr>
<td>意識改革</td>
<td>'96.3～
世界選手権
まで</td>
<td>"It is possible."

文字どおり世界チャンピオンを決める大会である。日本選手は自国の開催ということもあって、様々なプレッシャーの中で戦わなければならない。
そこで要求されるのが、どんな状況に陥ろうと常に最高のパフォーマンスを発揮できる強靱なメンタルタフネスを持ち合わせた選手。</td>
<td>1．選手選考
a．現在での日本のトップであり世界のトップクラスになれる可能性を秘めた選手。
b．ハンドボールに前向きに取り組んでいるか。(Living personality) 個性を持った選手。
c．常に考えながらプレーしている選手 (thinking player)。
2．世界選手権での可能性
a．チームを強化する環境は世界No.1。
b．世界選手権に対する準備ができる時間を一番持っているのが日本。
3．自己の確立＝WINNER
a．Living personality－喜怒哀楽を表現することにより自分のプレーに責任を持つ。
b．Must love compete－競い合うことに対して前向きに取り組む。
c．Concentration on what to do on performance－今すべきことに集中する。
d．Hate to lose－勝負においては常に負けを嫌う。
e．War situation－国際試合は肉体的、精神的な戦争である。
WINNERとは自分の掲げたTERGETに対して、前向きに勇気を持って進める者。</td>
<td>"記念すべき7月10日"
紋別合宿の最中はじめて選手全員が自分の感情を顕にした日。

スウェーデンとの国際試合の後、全日本総合でのナショナル選手の態度が1年前とは180度変わっていた。</td>
</tr>
<tr>
<td>体格・体力</td>
<td>'96. 3～
世界選手権
まで

'96. 3～7
'96. 8～12
'97. 1～3
'97. 4～
世界選手権
まで</td>
<td>ハンドボールはコンタクトスポーツであり世界のトップレベルと対等に戦うことのできる体格・体力を身に付ける。
1．体格面のハンディを克服すべく筋量増による除脂肪体重増加をねらう
<table>
<tr><th></th><th></th><th>身長 cm</th><th>体重 83</th></tr>
<tr><td>'96・3</td><td>日本</td><td>185</td><td>83</td></tr>
<tr><td>CS ヨーロッパ</td><td>平均 全チーム</td><td>188.7</td><td>89.7</td></tr>
<tr><td>OL アトランタ</td><td>平均 トップ12</td><td>190.7</td><td>91.3</td></tr>
<tr><td>'97・1</td><td>日本</td><td>185</td><td>90.4</td></tr>
</table>
＊当初の目標値平均88kgはクリアーしているものの、今後も引き続き継続して体格面の向上を目指す。
2．PHYSICAL TRAINING
a．STRENGTH TRAININGを取り入れ今後の練習に耐え得る基礎的な筋力を養成する。(準備期)
b．国内スケジュール中心の期間であるが、前期間で培った体力を低下させないよう徹底させる。(維持期)
c．世界選手権に向けさらなる向上を目指す。(鍛錬期)
d．ゲームにおいて断続的に最大のパワーが発揮できるようパワートレーニングを実施する。(仕上期)</td>
<td>1．1日体重1kg当たり60kcal摂取するよう努めた。
(例)90kgの選手の場合　60kcal×90kg＝5400kcal
合宿時の食事のパターンは朝昼夕夜と練習の間にパンと牛乳を摂取する。
2．医科学委員会による形態測定の実態

1．PHYSICAL TRAINING
(STRENGTH)
<table>
<tr><th>a．'96. 3～7</th><th>b．'96. 8～12</th><th>c．'97. 1～3</th></tr>
<tr><td>BENCH PRESS 5RM.5S
SQUAT
DEAD LIFT
SHOULDER PRESS 10RM.5S
TWO HANDS CURL
CRUNCH 20KG.20T.5S
LEG RAISE 20T.5S</td><td>BENCH PRESS 5RM.5S
SQUAT
(DEAD LIFT)
CLEAN&JERK 3RM.5S
(SHRUGS)
CRUNCH 20KG.20T.5S
LEG RAISE 45°.20T.5S
PULL UP 10T.5S</td><td>BENCH PRESS 10RM.5S
SQUAT
CLEAN
JERK
SINGLE LEG
STEP UP
CRUNCH 20KG.20T.5S
LEG RAISE 45°.20T.5S
PULL UP 10T.5S
SIT UP 20T.5S</td></tr>
<tr><td colspan="3">d．'97. 4～WC
Cの期間の種目についてパワートレーニングに移行する為、6～1RMで行う様にする。</td></tr>
</table>
<table>
<tr><th>(SPRINT)</th><th>(JUMP)</th><th>(持久力)</th></tr>
<tr><td>96.3~12 30M.10本
20-40-20.10本</td><td>96.3~12 垂直跳び 10T.5S
5STEPS 10本</td><td>96.3~12 45分間走
YO-YOテスト</td></tr>
<tr><td>97.1~3 20M.20本</td><td>97.1~3 片足跳び20M.各10本</td><td>97.1~3 速攻練習</td></tr>
</table></td>
<td>スタート当時は選手も抵抗があったようだが、今では、自ら摂取するようになった。

96. 3月と8月に実施した形態測定の結果、食事管理と体力トレにより大幅に変化した。

96. 8にドイツ・フランスへ15日間の海外遠征を行ない、12試合程度ゲームを消化したが大型選手に当り負けすることもなくプレーすることができ、またケガ人を1人も出さずに帰国することができた。</td>
</tr>
</table>

項目	時期	ね　ら　い	具体的な内容	備　　考
戦術・個人技能	'96．３～ 世界選手権まで	１．チーム戦術 ＯＦ――日本人の長所であるスピードを活かしヨーロッパの大型選手を左右に揺さぶり、成功確率の高いポジションでのシュートチャンスを創り出す。 →プラスワンシチュエーション ハンドボールチェス→相手ＤＦをチェスの駒のように動かしノーマークチャンスを創る。 ＤＦ――９ｍエリア内を完全に守る。 確率の高いシュートチャンスの状況を全く与えない。 (速攻) ＯＦ――我々の武器として考える。日本人のスピードを活かす。 ＤＦ――速攻での失点は極力押える。→ＯＦの成功率を上げる。	２ｍ、100kgの大型選手６人が６ｍエリア際に手を繋いで並んでも、６ｍエリア全部をカバーすることはできない。残ったフリーのスペースが我々に与えられたチャンス。 ア．ワイドアタック―攻撃のスタートを広く強く攻めることにより最終的な場面でより広いエリアを確保できる。 イ．コンタクトパス―次にパスを出す味方の選手に対してスペースを与えることができる。 ウ．バウンズパス―ノーマークになったポストに対して通常のパスを通せばほとんどカットされてしまう。サイドへずらすパスも同様。→大型ＤＦの脇を通す。 相手ＯＦにおいて、ディスタンス（ＤＦが介在する）シュートの比率を多くさせ、攻撃成功率を低下させる。 ア．１：１の状況では負けない。 イ．相手がシュートorパスかしっかり見極める。 ウ．９ｍの中に入って来た相手には必ずコンタクトし、フリースローを取る。 エ．相手シューターが苦しい状況であれば不必要な反則は犯さない。	(個人の体力→個人の技術→チーム戦術) センタープレーヤーの冨本選手はチーム１の脚力を持っており、彼のフェイントを使ってシュートチャンスあるいはプラスワンシチュエーションを創り出す。 冨本選手は11月のオランダのトーナメントで最優秀選手賞を受賞。
		２．個人技能 (ＯＦ) バックプレーヤー：シュート確率を50％以上を目標とする。 ポスト：バックプレーヤーとのコンビネーションを確立する。 サイド：シュート確率は70～80％を目標。 (ＤＦ) センターＤＦ：９ｍ内のシュートチャンスを潰す。 サイドＤＦ：味方ＤＦを押し上げ、相手ＯＦのきっかけを潰す。	バックプレーヤー：９ｍより外のシュートは避け、ゴールポスト全体が見えるまで待つ。 少ないチャンスを活かせるよう常にステップシュートを打てる準備をする。 ポスト：時にはゲームメーカー的な役割も果たし、味方と常にコミュニケーションをとる。 サイド：シュートのバリエーションを増やしどんなＧＫにも対応できるように。 ＰＴを獲得する技術を身に付ける。 センターＤＦ：相手シューターの利き腕側に位置取りをする。シュートブロックは両手。 サイドＤＦ：相手のサイドが攻撃を始めようと９ｍの中に入って来たときは必ずコンタクトしサイドプレーヤーに余裕を与えない。相手の攻撃を読みやすくし、タイミングを狂わせる。	

項目	時期	ねらい	具体的な内容	備考
戦術・個人技能	'96．3～ 世界選手権 まで	ゴールキーパー 1．シュート阻止率50%を目標とする 2．攻撃への第一歩	1．キーピング a．ディスタンスシュート 味方ＤＦを利用し、シューターの情報をすべて取り入れた上でボールをハントする。 (先に早く動き過ぎたり、見送ったりしない) b．ポストシュート&カットイン シューターがバランスを崩していたり、キャッチするのが精一杯の時は、シューターに余裕を与えないようボールに対して前へつめる。 c．サイドシュート シューターの跳びこむ角度・方向を見極め、シューターが最終的にどこに打つか決定したと判断してから、体全体を使って動く。→手足だけでシュートに当てにいかない。 2．スローイング a．速攻 ワンパスが出せないと判断した時は、素早くフィールドにボールを出す。 リスクを負うようなロングパスはしない。→ミスに繋がり簡単にボールがわたってしまう。 b．ゴールスローあるいはスローインの時、ルール上正しいやり方で行う。	橋本選手が96．8月に出場したドイツでのトーナメントで、ベストセブン受賞。 昨年末のスウェーデンとの国際親善試合においては、50%を越す阻止率（世界大会でのナンバーワンＧＫでも45～50%）を記録し、試合は引き分けたもののＧＫゲームでは勝利を収めた。
		3．イメージトレーニング	1．ビデオ撮影 a．世界のトッププレーヤーたちの映像を編集し、プレーのイメージを選手たちに植付け取り組ませる。 b．反対に世界のトッププレーヤーの悪い部分を引き出し、自分たちの方向が間違っていない事を示す。 c．練習を録画し、ミーティングでチェックする。	スウェーデンとの国際試合の最中、オルソン監督の提案により日本のサイドプレーヤーがスウェーデンのサイドプレーヤーからレクチャーを受けた。

人気急上昇！「ハンドボールフォーラム」がオープン（FHANBDAL）

4月1日（火）から「ハンドボールフォーラム」がオープンしました。

スピーディー&パワフル、そして格闘技の要素をあわせ持つ、ダイナミックな球技「ハンドボール」。今年5月17日（土）から6月1日（日）まで世界選手権大会が欧州以外では初めて日本（熊本）での開催が決定し、いまひそやかなブームになりつつあります。

「ハンドボールフォーラム」では、その熊本世界選手権の情報や、海外の情報、国際級レフリーによるルールの解説、日本の協会の公式情報、国内の情報（学生リーグ、日本リーグ）などのホットな話題をお届けします。さらに“パソコン通信を通じてハンドボールのメジャー化に寄与する”ことを主な目的として、ハンドボールに関する情報交換を行っていきます。

「ハンドボールフォーラム」をぜひご利用下さい。

【アクセス方法】GOコマンド“FHANDBAL”（nifty：FHANDBAL）
【サービス種別】フォーラム
【料金】接続料金のみ

アパートから一戸建ての家に引っ越してきて、庭に記念樹を植えたような感覚です。

☆ハンドボールフォーラムへの入りかた
FHANDBALへの入りかた
（フォーラムへの昇格により、トップメニューから わかりやすくなっています）
＊トップメニューから、追っていく場合

```
>TT
NIFTY-Serve   TOP
1．サービス案内・検索          2．電子メール
3．掲示板                      4．CBシュミレーター
5．フォーラム／ステーション    6．ニュース／スポーツ／天気予報
7．企業／経済／人物／行政      8．科学／技術／翻訳
9．書籍／教育／就職            10．趣味／旅行／生活／ボランティア
11．占い／クイズ／ゲーム       12．ワープロ／コンピューター
13．ショピング                 14．海外データーベース（INFOCUE）
15．コンピュサーブコーナー     16．ビギナーズコーナー
17．インターネット／他ネット接続  E．終了
```

```
>5
フォーラム／ステーション   FORUM
1．フォーラム／ステーションの楽しみかた  2．一覧／検索
3．ビジネス／経済／行政        4．科学／技術／語学
5．書籍／文芸／パブリッシング  6．社会／教育／研究
7．スポーツ                    8．音楽／映画／放送／演劇
9．旅行／車                    10．生活／ライフスタイル
11．健康／医療                 12．占い／クイズ／ゲーム
13．ワープロ／パソコン／周辺機器  14．ソフトウェア
15．ホビー／ノンセクション     16．フォーラムイベント
17．インターネット／イントラネット
```

```
>7
スポーツ
1．モータースポーツフォーラム
2．釣り（フィッシング）
3．ウインタースポーツフォーラム
4．マリンスポーツフォーラム
5．サッカー／ラグビー／アメフット
6．野球／ゴルフ／テニス
7．バスケット／バレーボール／ハンドボール
8．競馬／乗馬
9．プロレス／ボクシング／相撲／武道
10．サイクルフォーラム
11．エアロフォーラム
12．山のフォーラム
13．Shooting／アウトドア／冒険&フィールド
14．アスリート／ランニング／インドア
15．Number Readers60 Forum
```

```
>7
バスケット／バレーボール／ハンドボール
1．バスケットボールフォーラム
2．バレーボール・球技フォーラム
3．ハンドボールフォーラム
```

```
>3
_／_／_／HDBALL forum_／_／_／_／_／_／_／_／_／_／_／
    なにから何まで、すべてがハンドボール／
         ハンドボールフォーラムへ　ようこそ…
_／_／_／_／_／_／_／_／_／_／_／FHANDBAL 19971_／_／_／
```

＊GOコマンドをつかう場合
>GO FHANDBAL
これだけで、ダイレクトインできます。

第15回男子世界選手権熊本大会記念テレホンカード。
1,300円（送料含）、申込先（財）日本ハンドボール協会あて
現金書留でお願いします（在庫限り）

6月の行事予定

6／3 ワールドドリームゲーム 18：00～ 駒沢体育館
6／7 常務理事会
6／14 第1回理事会
6／28 第1回評議員会
6／7・8 B級審判審査会 中地区I 名古屋
6／19・20 B級審判審査会 中地区II 長浜
6／27・28 B級審判審査会 東地区 群馬

職 求む！

名前 Morten Fjeldstad
教育 ノルウェー トップ ナショナル コーチ
スポーツ及びマーケティング主任
貴国トップクラスのクラブ又はナショナルのコーチ
（A.U.J.）を希望
交信 電話 47-93098420
ファックス 47-55247781

CONTENTS 6月号

MIKASA®
明星ゴム工業株式会社

HAND BALLS

国際公認球

アデランテ 前進





ホワイト／ブラック



ホワイト／ピンク

PKCH3-AD ￥4,600

検定球3号，国際公認球，アデランテ，手縫い
一般・大学・高校・男子用，天然皮革
パキスタン製

PKCH2-AD ￥4,500

検定球2号，国際公認球，アデランテ，手縫い
一般・大学・高校・女子用，中学校用，
天然皮革，パキスタン製



ホワイト／ブラック



ホワイト／ブルー



ホワイト／ブラック



ホワイト／ピンク

PKCH3-BS ￥4,000

検定球3号，ビッグシュート，手縫い
一般・大学・高校・男子用，人工皮革，
パキスタン製

PKCH2-BS ￥3,800

検定球2号，ビッグシュート，手縫い
一般・大学・高校・女子用，中学校用，
人工皮革，パキスタン製

NEW



NEW





PKCH3-SRT ￥5,600

検定球3号，スエルテ，48枚パネル，手縫い
一般・大学・高校・男子用，天然皮革
パキスタン製

PKCH2-SRT ￥5,500

検定球2号，スエルテ，48枚パネル，手縫い
一般・大学・高校・女子用，中学校用，
天然皮革，パキスタン製

PKCH3-ADR ￥2,800

練習球3号，アデランテ，　手縫い
一般・大学・高校・男子用，合成ゴム
パキスタン製

MIKASA®
明星ゴム工業株式会社

本　　社	／〒733	広島市西区楠木町3丁目11-2	TEL082（237）5145
東京営業所	／〒111	東京都台東区松が谷1丁目5-14	TEL03（3843）4671
大阪営業所	／〒543	大阪市天王寺区東高津町1-6	TEL06（761）8441
大阪物流センター	／〒577	東大阪市西堤本通東3-4	TEL06（781）4845
広島営業所	／〒733	広島市西区楠木町3丁目11-2	TEL082（237）4772
名古屋営業所	／〒460	名古屋市中区千代田2丁目24-8	TEL052（251）2381
福岡営業所	／〒812	福岡市博多区東比恵4丁目12-9	TEL092（431）6950
仙台営業所	／〒984	仙台市若林区卸町東4丁目1-8	TEL022（288）2361

（財）日本ハンドボール協会編　『ハンドボール』第三七五号
昭和四十年六月七日　第三種郵便物認可
平成九年五月二十六日印刷　平成九年六月一日発行
東京都[illegible]谷区神南一—一—一
電話　代表　三四八一—二三六一
振替　〇〇一二〇—七—一〇二九三
編集兼発行人　中澤重夫
価格は登録金に含む

